

最近の経済動向

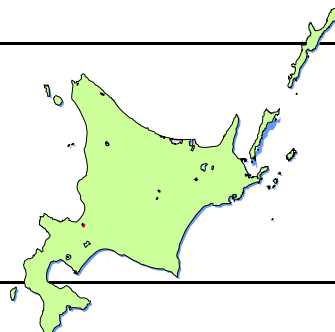
平成25年9月号

本道経済は、持ち直しの動きが続いている

北海道の景気概況

P 1 ■企業のみなさまから伺いました

P 4 ■景気動向指数



需要動向（消費・投資）

P 5 ■個人消費 ~ 緩やかながら持ち直しの動きがみられる

P 7 ■住宅建設 ~ 持ち直しの動きが続いている

P 8 ■公共工事 ~ 増加の傾向にある

P 8 ■観光 ~ 持ち直している

企業活動と雇用、物価等

P 9 ■生産活動 ~ 緩やかながら持ち直しの動きがみられる

P 10 ■電力 ~ 電力需要、大口電力とも前年を下回った

P 12 ■輸出入 ~ 輸出額、輸入額とも前年を上回った

P 13 ■企業倒産 ~ 件数、負債総額とも前年を下回った

P 14 ■雇用 ~ 厳しい状況が続いているものの、緩やかに持ち直してきている

P 17 ■物価 ~ 消費者物価指数は前年を上回った

地域、全国の経済動向

P 18 ■地域の経済動向

P 24 ■全国の経済動向

編集・発行：北海道総合政策部政策局経済調査課

TEL 011-204-5139

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/skc/>

■ 企業のみなさまから伺いました

◆ 百貨店（8月）

【気温の低下とともに秋物商品が動き出す】

8月前半は気温が高かったため、夏物のセール品が引き続き動いていたが、後半になり気温の低下とともに秋物の商品が稼働し始めた。

婦人服では、晩夏から初秋向けの秋色夏素材のカーディガンなどの羽織ものが好調だった。また、トレンチコートやムートンなどの秋冬物の一部にも動きがみられた。

婦人靴では、ブーツやショートブーツ、秋色のパンプスが動き出した。

婦人雑貨では、ゲリラ豪雨の影響で、晴雨兼用傘や雨傘の売上が伸びた。

【お中元ギフト解体セール、外国人観光客の動き】

お中元ギフト解体セールは、今年も前年を上回り好調な売上だった。

また、円安の影響で外国人観光客の来客も引き続きよく、高級輸入時計などの売上は好調に推移している。

◆スーパーマーケット（8月）

【後半の低気温が夏商材の売上に悪影響】

8月は、前半は、前年より気温が高い日が続き、豚肉、鶏肉、ラム肉等の焼肉商材や乾麺等の涼味商材の売れ行きが好調であったが、後半は、気温の低い日が多かったため、夏商材の売れ行きが鈍くなった。

【お盆期間の売上は好調】

お盆期間（8/10～8/16）は、牛焼肉や牛ステーキ用肉等の高級肉の売上は、伸びなやんだものの、お刺身の盛り合わせやお寿司の売上が好調で前年を上回った。

また、お盆商材の生菓子の売上も好調であった。

◆コンビニエンスストア（8月）

【月後半の天候不順により売上伸びず】

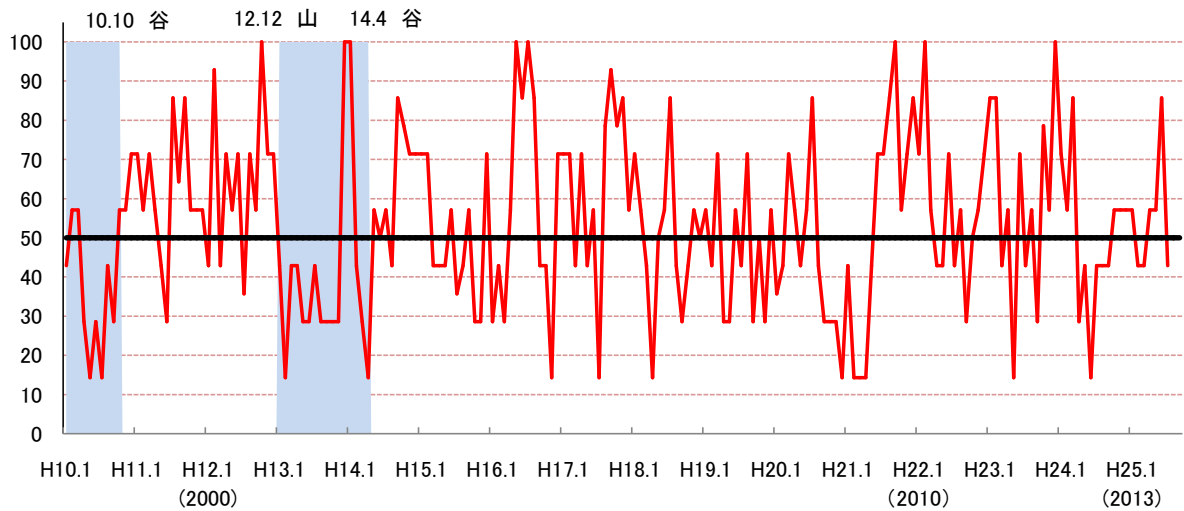
夏休みやお盆の帰省シーズンとなる8月前半は好天に恵まれ、順調に気温が上昇し、帰省に加え観光、大規模イベントへの人の動きもよく、売上は前年同期比プラスで推移していたが、お盆明けからの気温上昇の鈍化に加え、連日雨が降る状況の悪天候となったことから、客足が鈍り、月後半の売上高は前年同期を超えられなかった。

【その他の影響】

海水温の影響などから、一部魚種について不漁となっており、通常であれば漁の最盛期に備えて臨時雇いなどの「人」の需要に伴って弁当や総菜が売れるのだが、今年は遅れが出ているようで、売上にマイナスの影響が出始めているところもあり、今後、更に影響することを危惧している。

■ 景気動向指数

景気動向指数(一致系列)グラフ



景気動向指数(先行・一致・遅行)変化

系 列 名		24/ 7月	8月	9月	10月	11月	12月	25/ 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
先 行 系 列	新規求人数(新規学卒を除く全数)	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	+	+	+
	雇用保険受給者実人員(逆サイクル)	+	+	+	-	-	-	-	-	-	+	+	0	-
	生産指数(生産財)	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	-	-	p-
	新車登録台数(軽を含む乗用車)	+	+	-	-	-	+	+	+	-	-	+	+	+
	新設住宅着工戸数	-	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	+	-
	企業倒産件数(逆サイクル)	+	-	+	-	+	+	-	+	+	-	-	-	-
	企業業況判断D.I.	+	+	+	0	0	0	-	-	-	+	+	+	0
	拡張系列数	5	5	5	2.5	3.5	4.5	2	3	2	3	4	4.5	2.5
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	先行指数	71.4	71.4	71.4	35.7	50.0	64.3	28.6	42.9	28.6	42.9	57.1	64.3	p 35.7
一 致 系 列	有効求人倍率(新規学卒を除く全数)	+	+	+	+	+	+	-	-	-	+	+	+	+
	生産指数(鉱工業)	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	-	-	p+
	出荷指数(生産財)	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	-	-	p-
	大口電力使用量	-	-	-	-	+	-	-	-	-	+	+	+	-
	百貨店販売額(既存店)	-	+	-	+	+	+	-	-	+	+	+	+	p-
	着工建築物数(鉱業、建設業用+製造業用)	+	+	+	+	-	+	+	-	-	-	+	+	+
	輸入通関実績(原油及び粗油を除く)	+	-	+	+	+	-	+	+	-	-	-	+	p-
	拡張系列数	3	3	3	4	4	4	4	3	3	4	4	6	3
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	一致指数	42.9	42.9	42.9	57.1	57.1	57.1	57.1	42.9	42.9	57.1	57.1	85.7	p 42.9
遅 行 系 列	常用雇用指数(規模30人以上)	+	+	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	-
	完全失業率(逆サイクル)	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	0
	消費者物価指数(総合)	-	-	+	+	+	+	+	+	-	-	-	+	+
	家計消費支出(二人以上の勤労者世帯)	+	-	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-
	生産指数(資本財)	-	-	+	-	-	+	+	+	-	-	-	-	p-
	拡張系列数	2	1	3	2	2	2	3	3	1	2	2	3	1.5
	採用系列数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4
	遅行指数	40.0	20.0	60.0	40.0	40.0	40.0	60.0	60.0	20.0	40.0	40.0	60.0	p 37.5

(注) 1 北海道総合政策部政策局経済調査課 試算。Pは速報値(以下同様)。

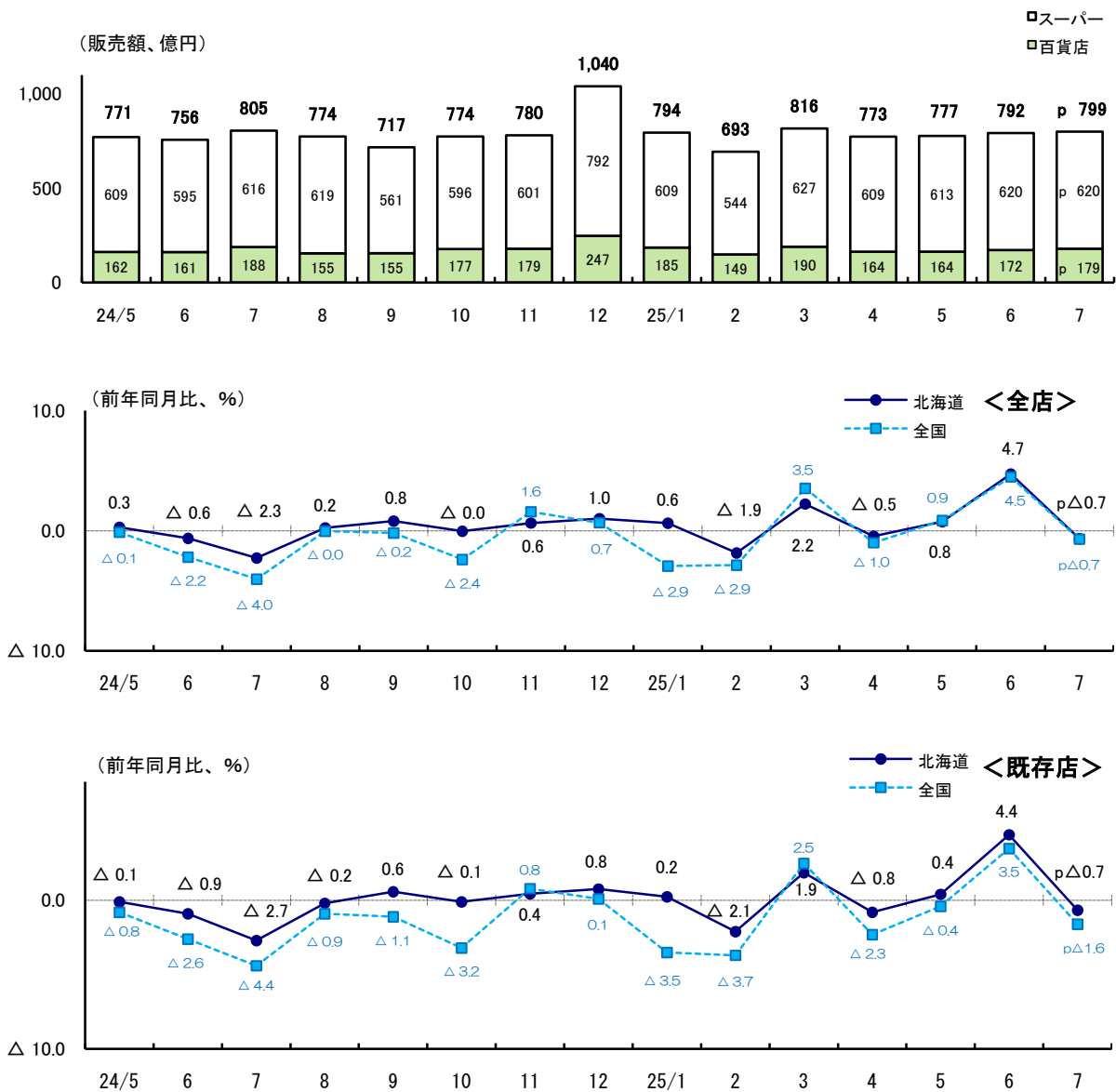
2 景気動向指数(Diffusion Index 略してDI)は、景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を示すものであり、景気局面の判断、予測と景気転換点(景気の山・谷)の判定に用いる。採用系列の各月の値を3か月前の値と比較して、増加した時には+を、保合いの時には0を、減少した時には-をつける(変化方向表)。その上で、先行、一致、遅行の各系列群ごとに採用系列数に占める拡張系列数(+の数)の割合(%)をDIとする。

DI=拡張系列数/採用系列数×100(%) (保合い(0)の場合は0.5としてカウントする。)

■個人消費～ 緩やかながら持ち直しの動きがみられる

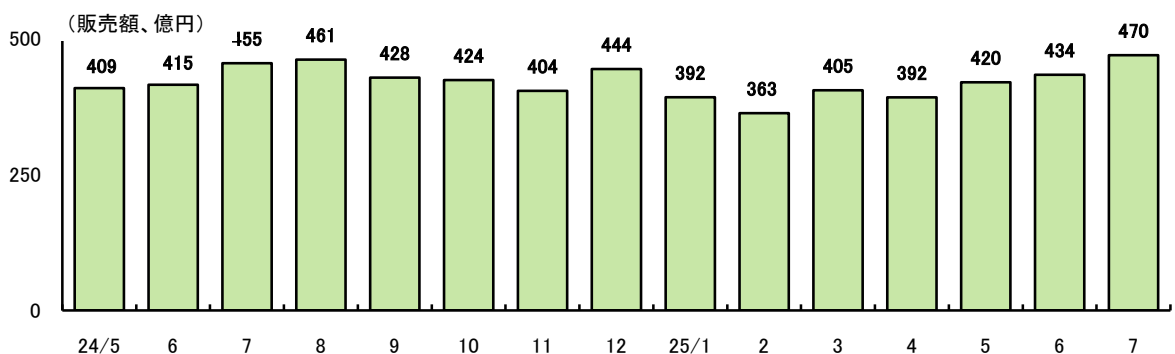
◆大型小売店販売額(7月)◆

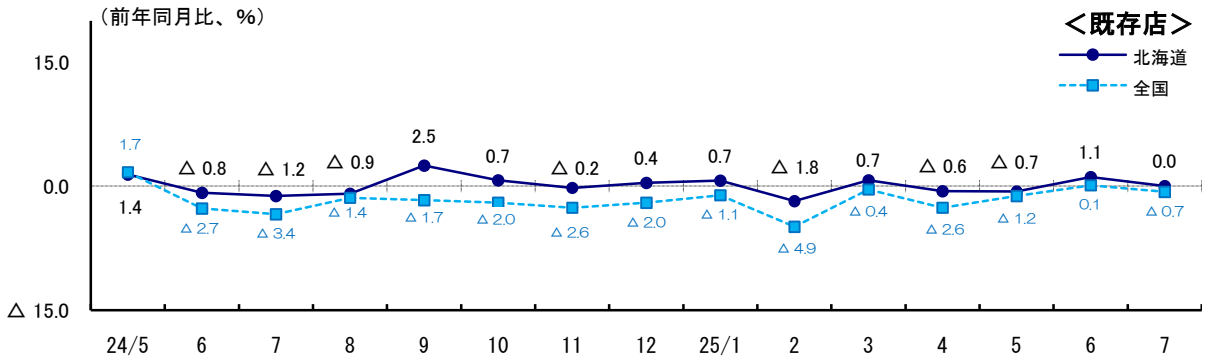
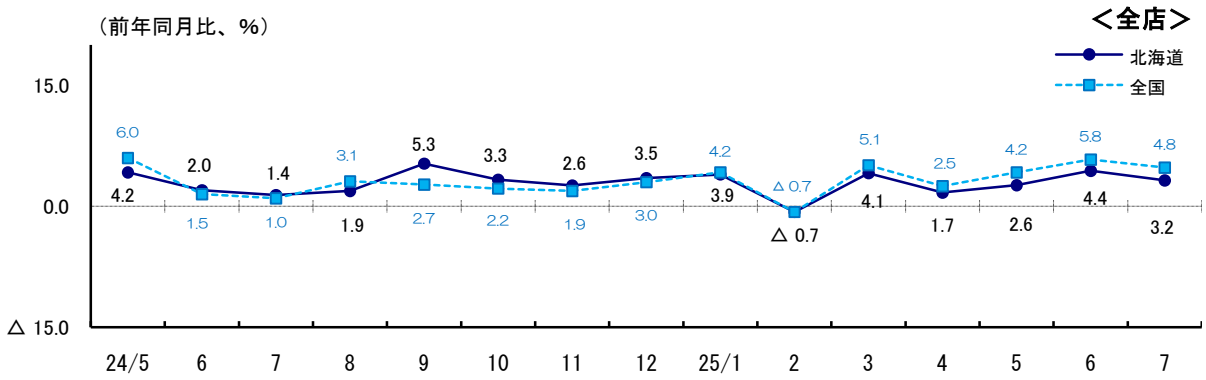
全店ベースで799億円、前年同月比0.7%減と3か月ぶりに前年を下回り、既存店ベースでは同0.7%減と3か月ぶりに前年を下回った。



◆コンビニエンスストア販売額(7月)◆

全店ベースで470億円、前年同月比3.2%増と5か月連続で前年を上回り、既存店ベースでは同0.0%と横ばいとなった。

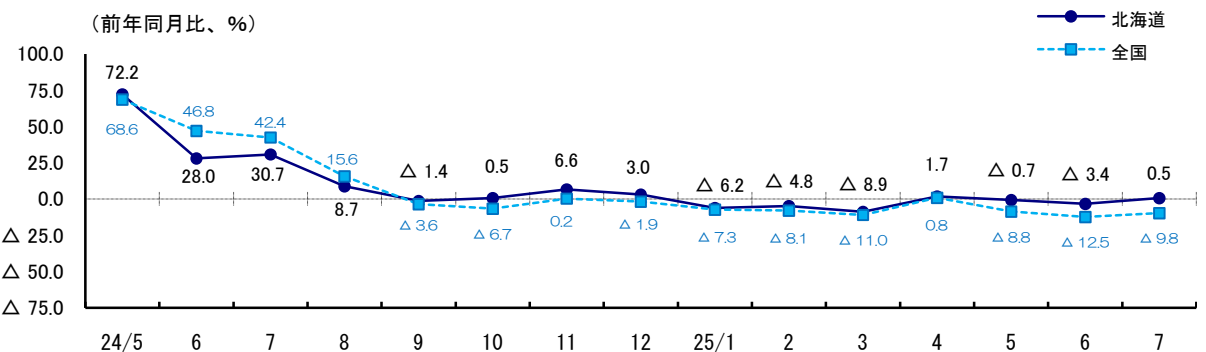
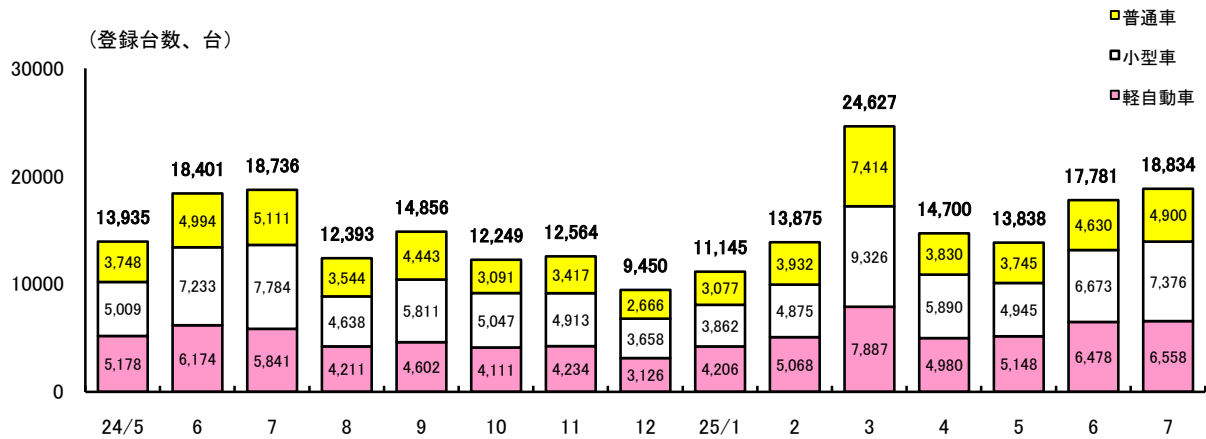




(北海道経済産業局、経済産業省調べ)

◆新車登録台数(7月)◆

新車登録台数は18,834台、前年同月比0.5%増と3か月ぶりに前年を上回った。



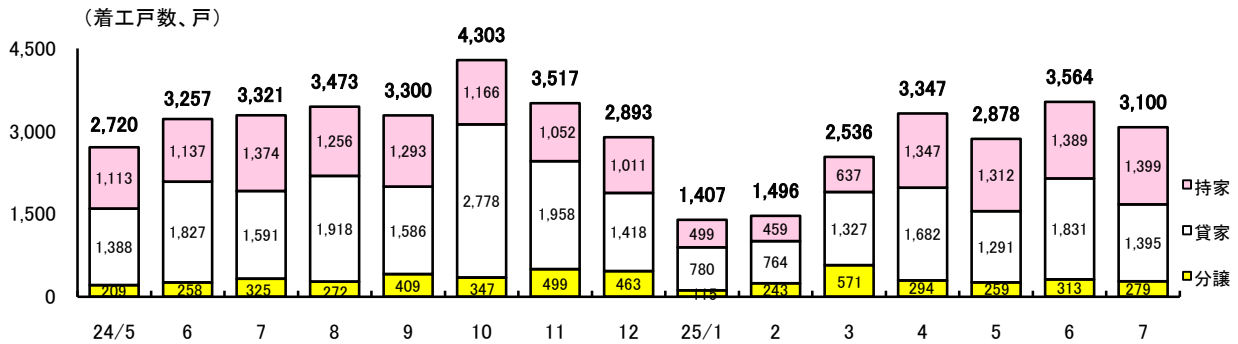
(※ H23/12 エコカー補助金復活) ※ H24/9 エコカー補助金終了

(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会調べ)

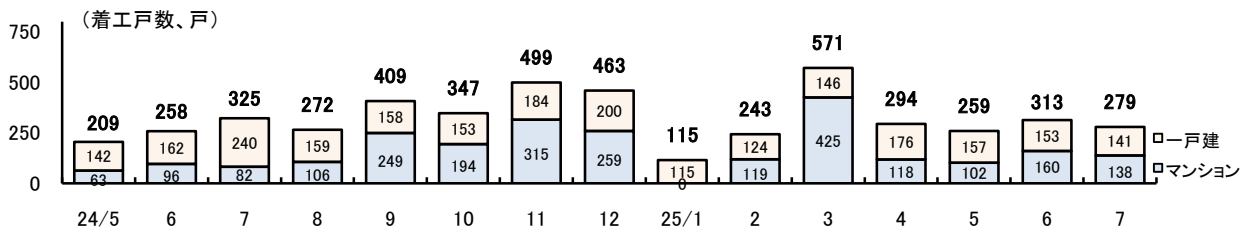
■住宅建設～ 持ち直しの動きが続いている

◆新設住宅着工戸数(7月)◆

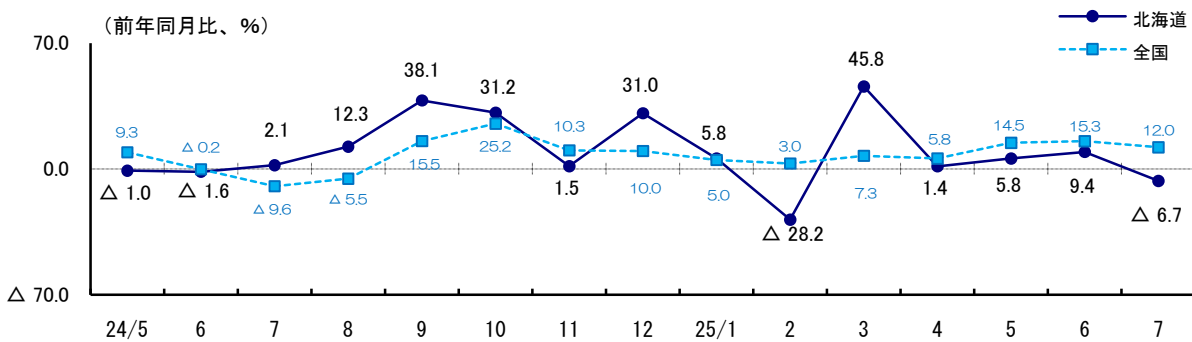
総戸数3,100戸、前年同月比6.7%減と5か月ぶりに前年を下回った。



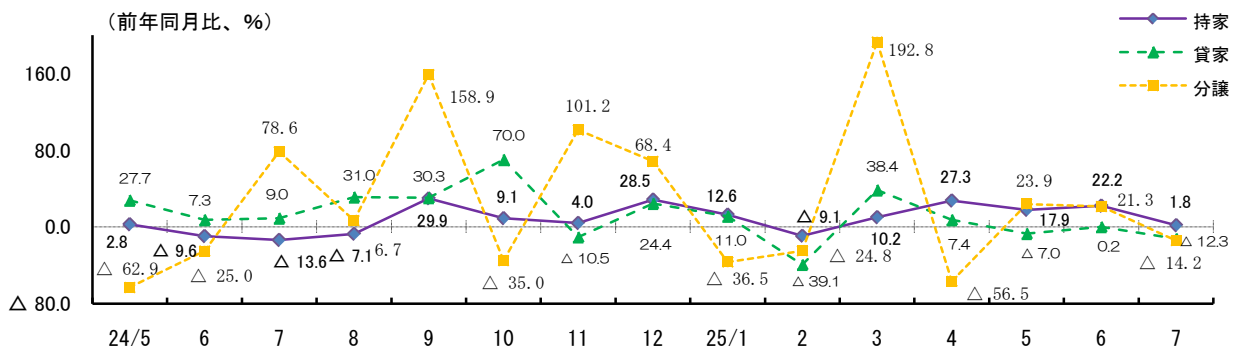
●分譲の内訳



※ 長屋建てを除くため、内訳と合計は一致しない。



持家は前年を上回ったが、貸家、分譲は、前年を下回った。

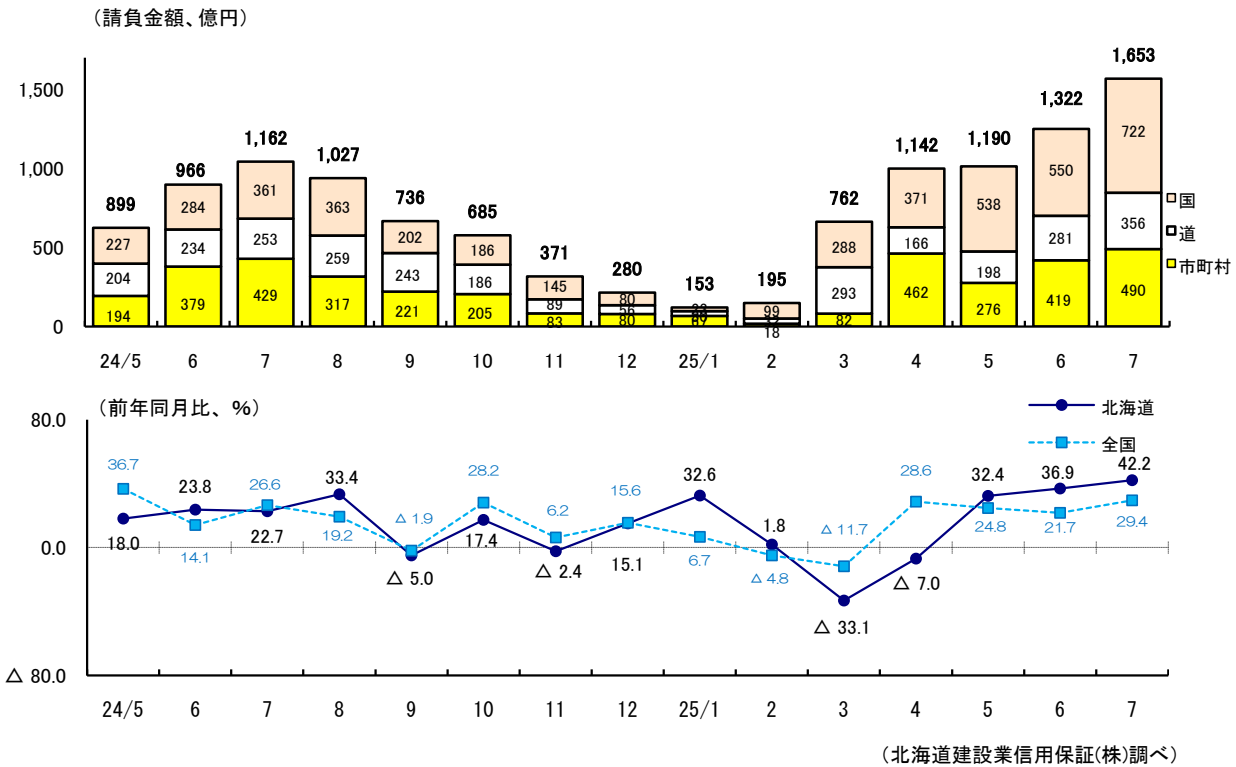


(国土交通省調べ)

■公共工事～ 増加している

◆公共工事請負金額(7月)◆

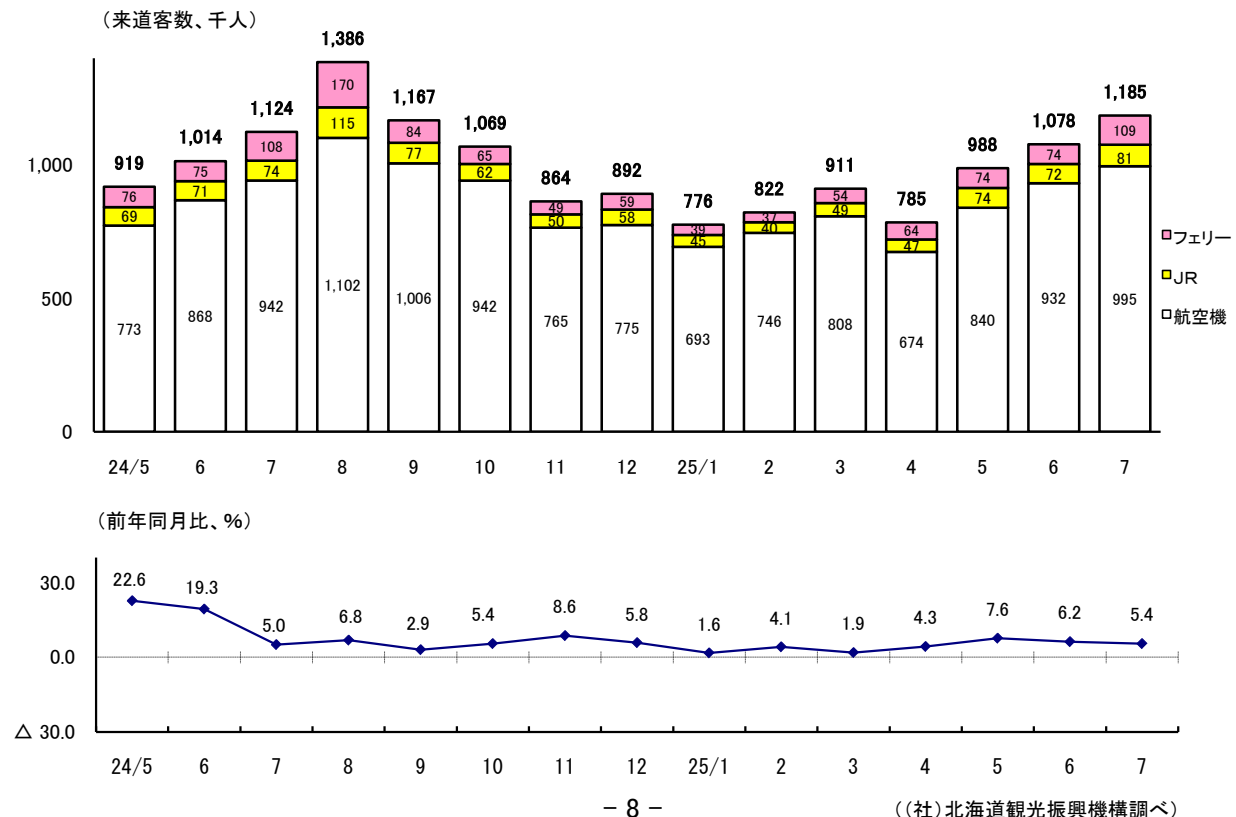
請負金額は1,653億円、前年同月比42.2%増と3か月連続で前年を上回った。



■観光～ 持ち直している

◆来道客数(7月)◆

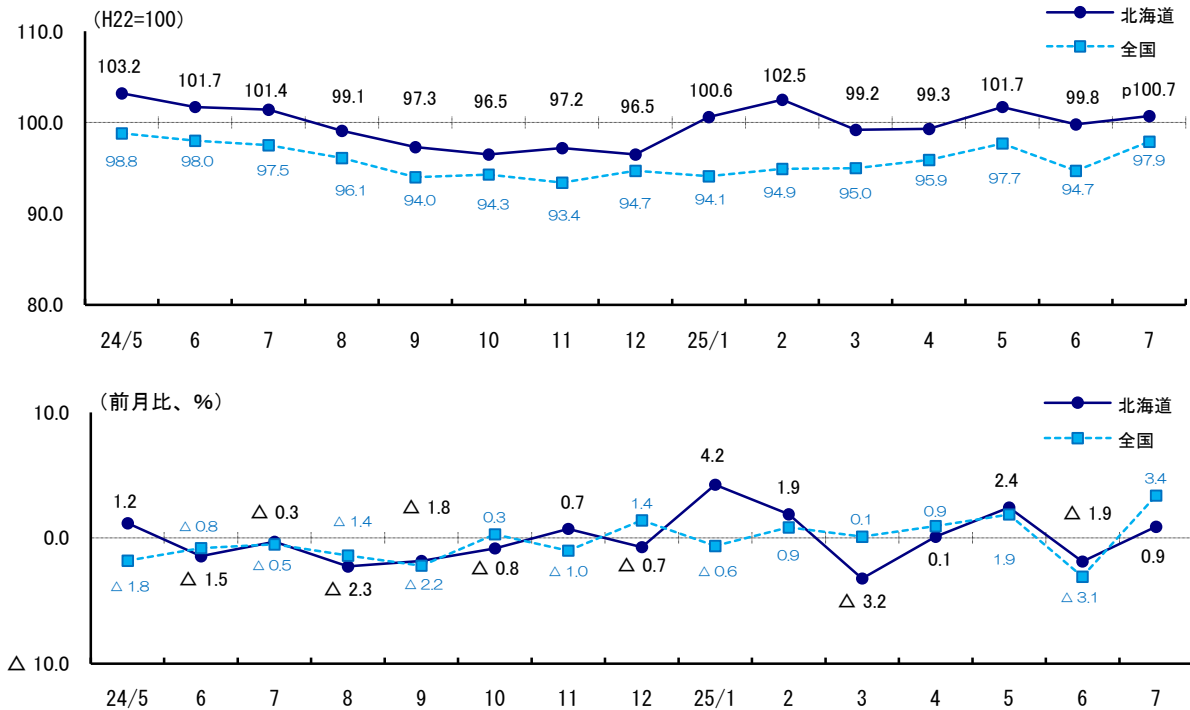
来道客数は119万人、前年同月比5.4%増と17か月連続で前年を上回った。



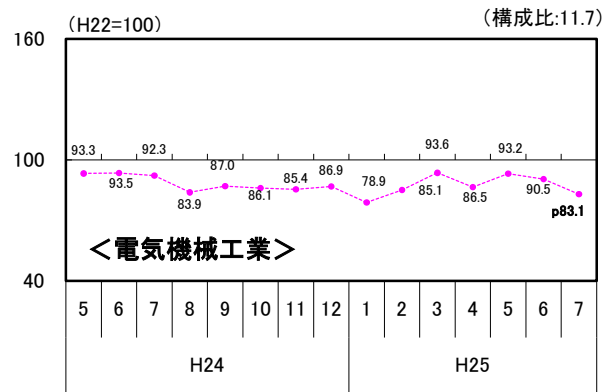
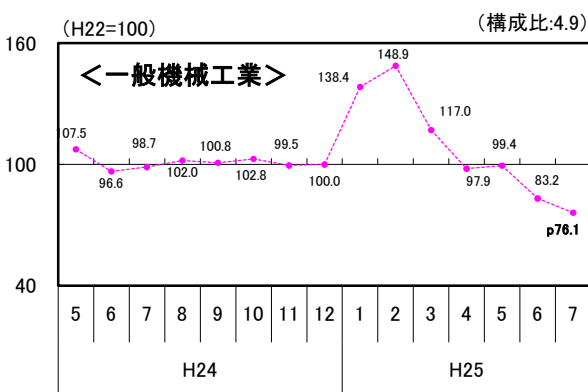
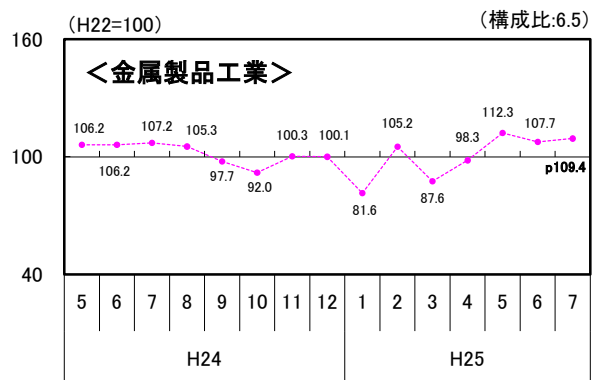
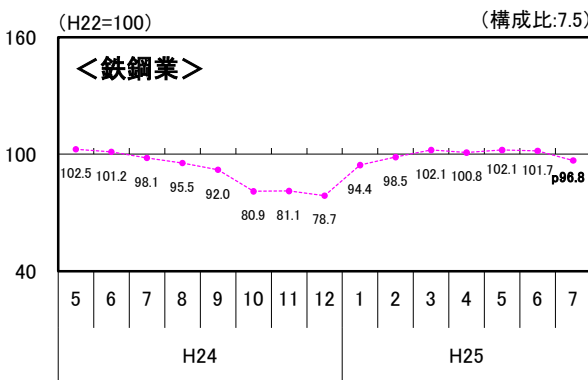
■生産活動～ 緩やかながら持ち直しの動きがみられる

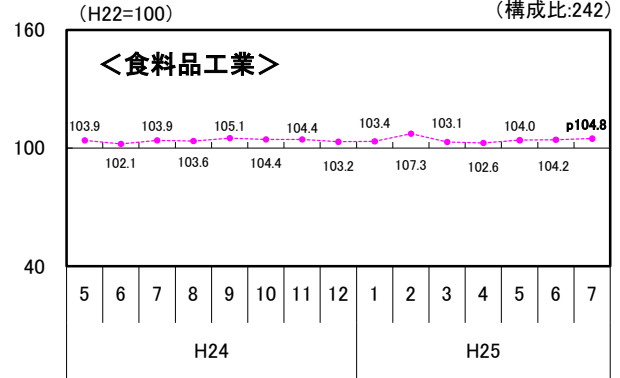
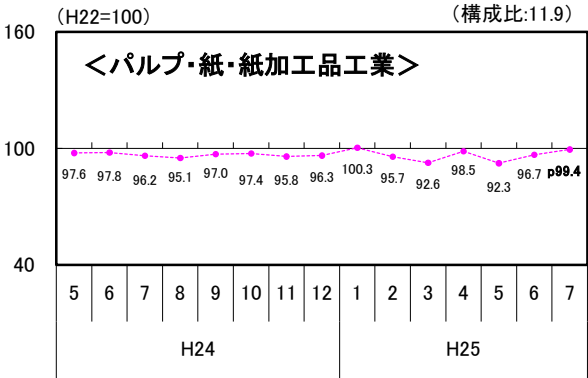
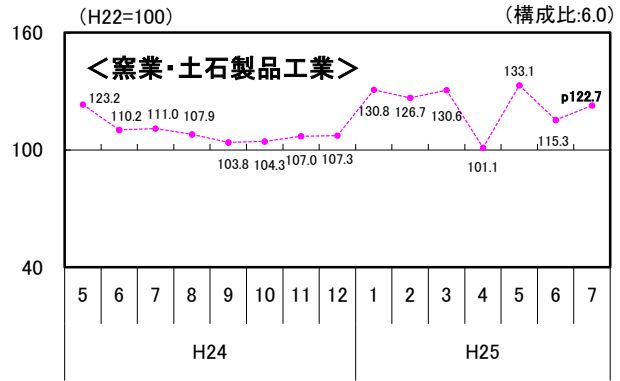
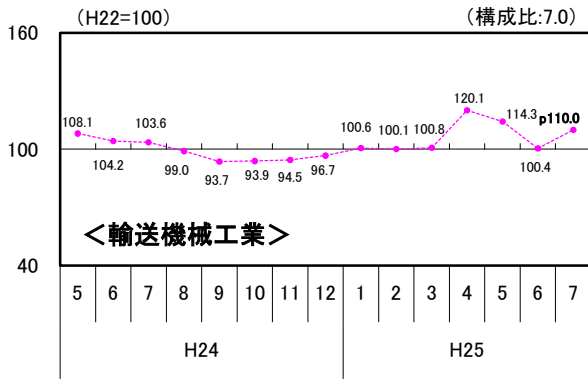
◆鉱工業生産指数（7月）◆

季節調整済指数で100.7、前月比0.9%増と2か月ぶりに前年を上回った。



業種別では、季節調整済指数で、金属製品工業、輸送機械工業、窯業・土石製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、食料品工業が上昇したものの、鉄鋼業、一般機械工業、電気機械工業は低下した。



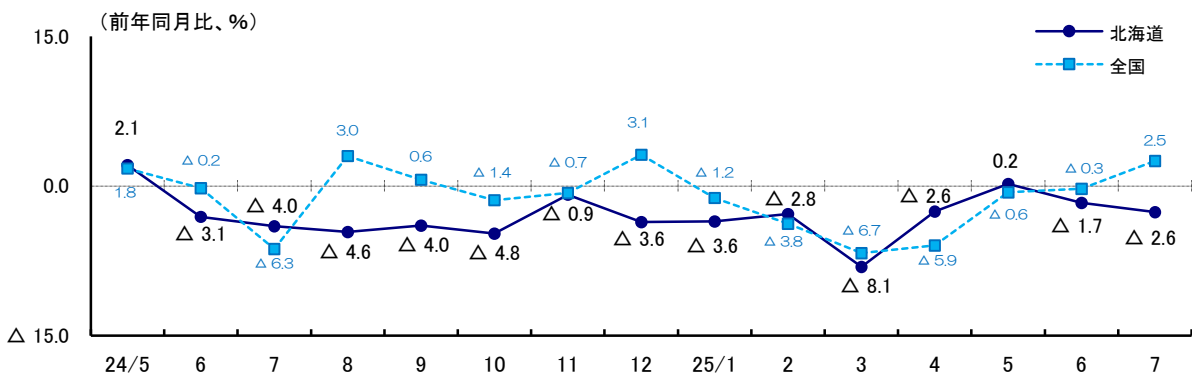
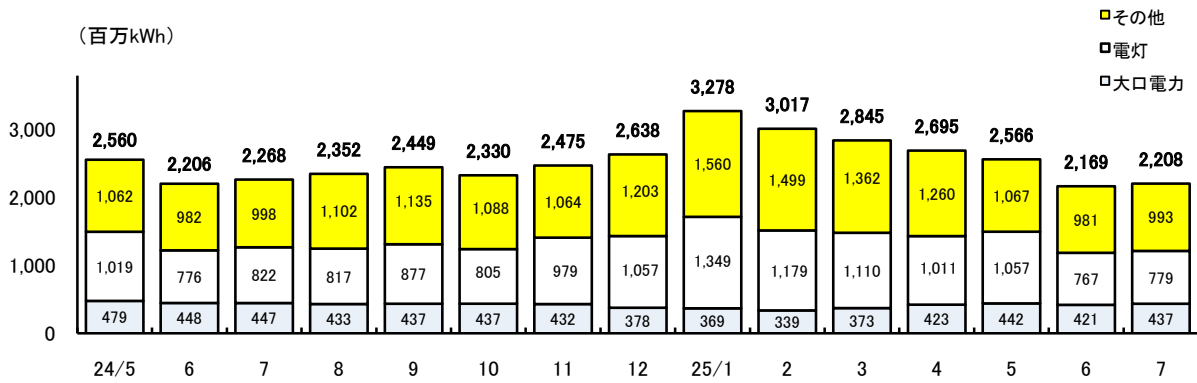


(北海道経済産業局、経済産業省調べ)

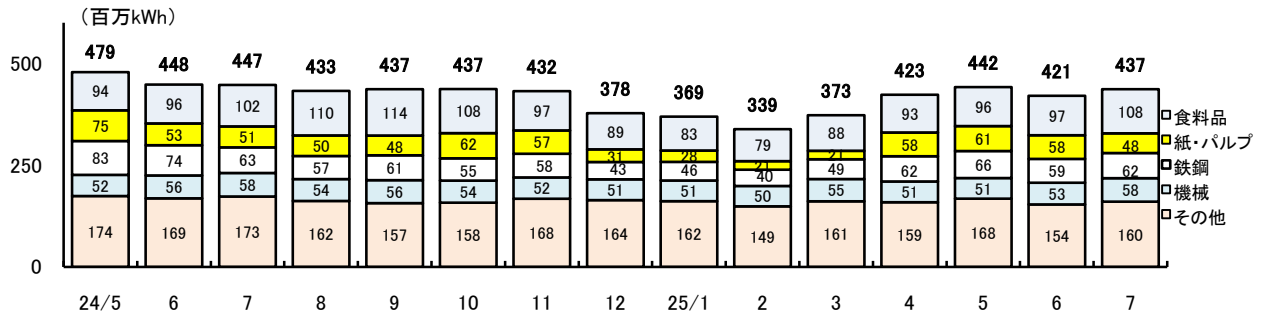
■ 電 力 ～ 電力需要、大口電力とも前年を下回った

◆ 電力需要（7月） ◆

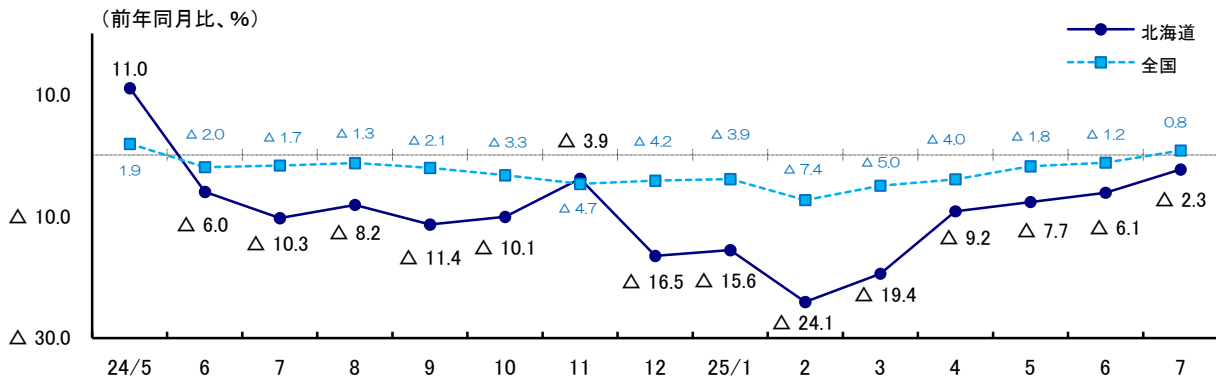
電力需要は2,208百万kWh、前年同月比2.6%減と2か月連続で前年を下回り、産業用需要の大口電力は437百万kWh、同2.3%減と14か月連続で前年を下回った。



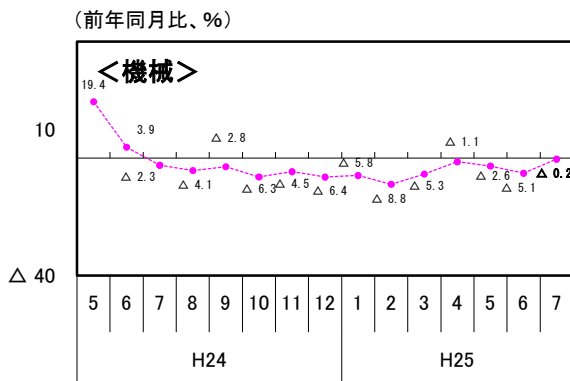
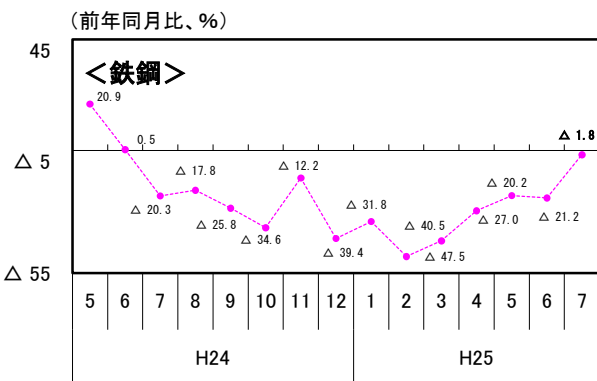
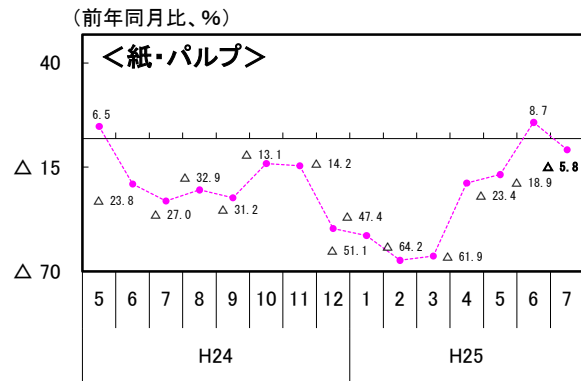
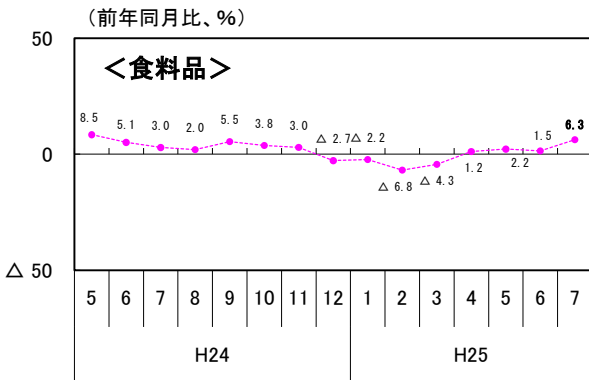
● 大口電力の内訳



● 大口電力の推移



業種別の大口電力では、食料品が前年を上回ったが、紙・パルプ、鉄鋼、機械は前年を下回った。

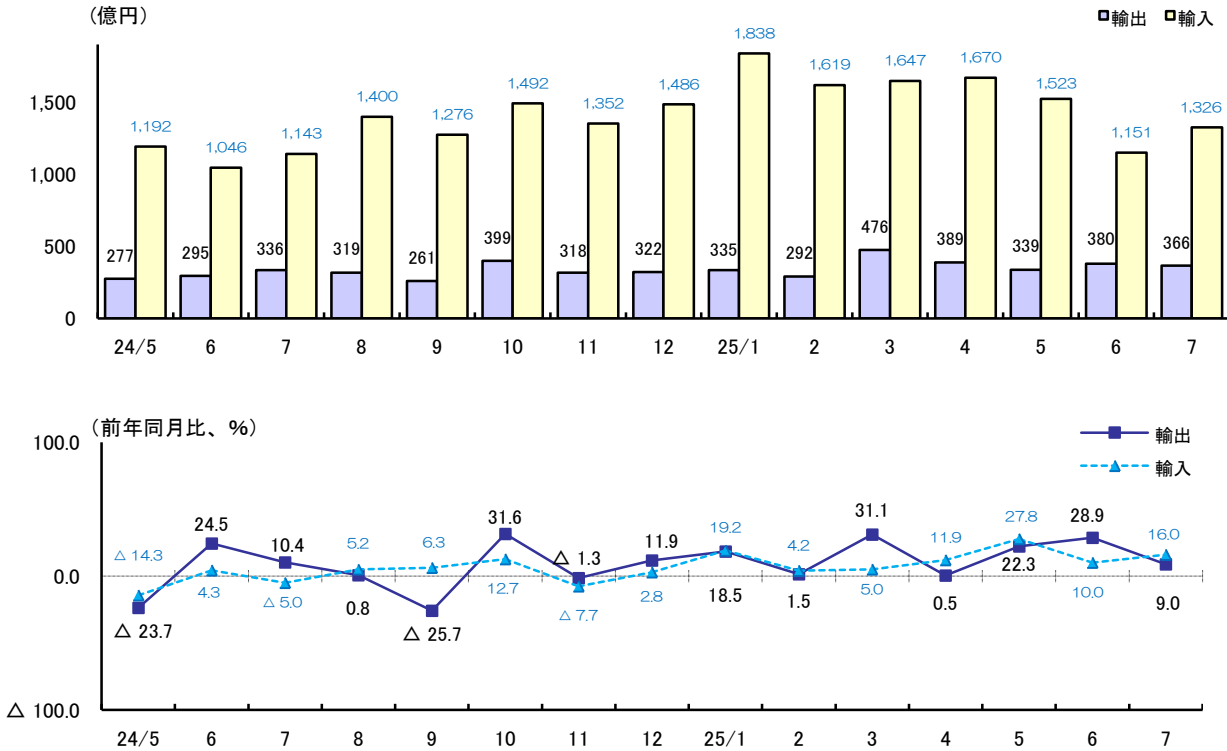


(電気事業連合会調べ)

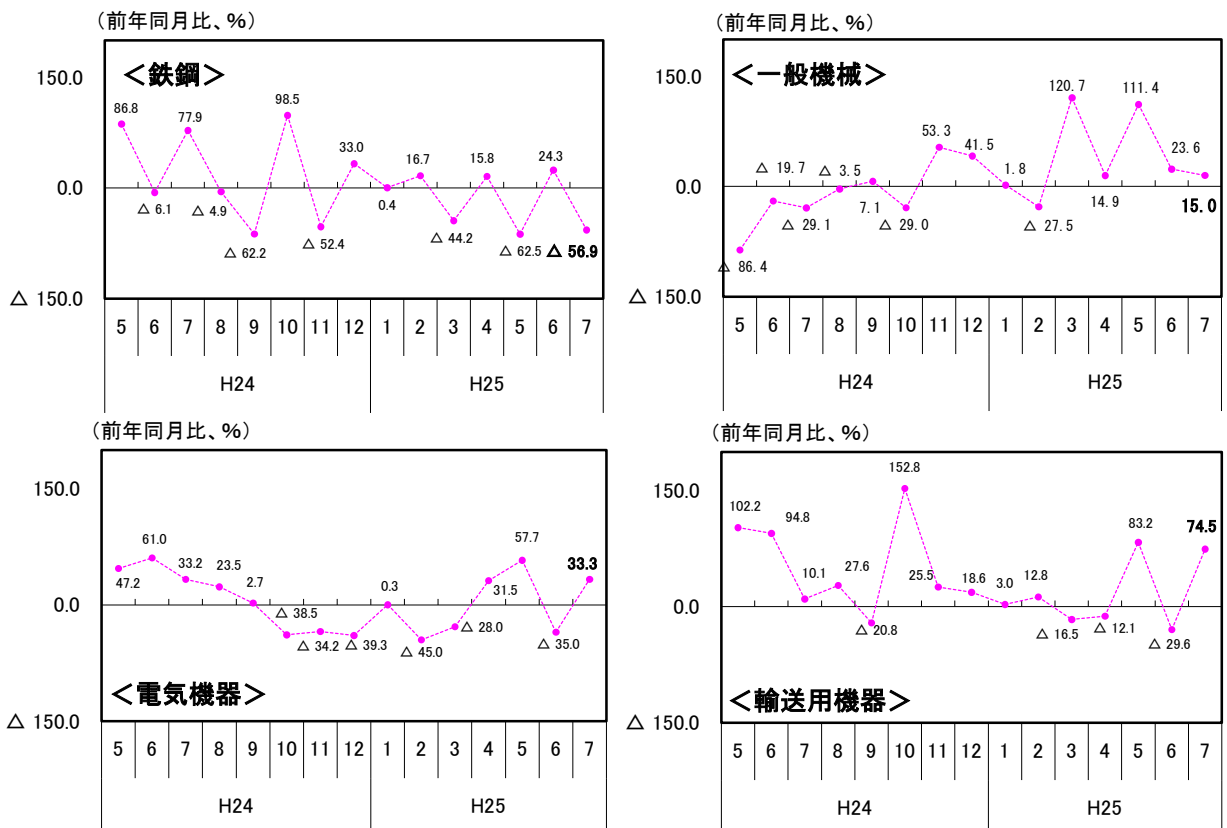
■輸出入～ 輸出額、輸入額とも前年を上回った

◆輸出入額（7月）◆

輸出額は366億円、前年同月比9.0%増と8か月連続で前年を上回り、輸入額1,326億円、同16.0%増と8か月連続で前年を上回った。



輸出品別では、一般機械、電気機器、輸送用機器が前年を上回ったが、鉄鋼が前年を下回った。

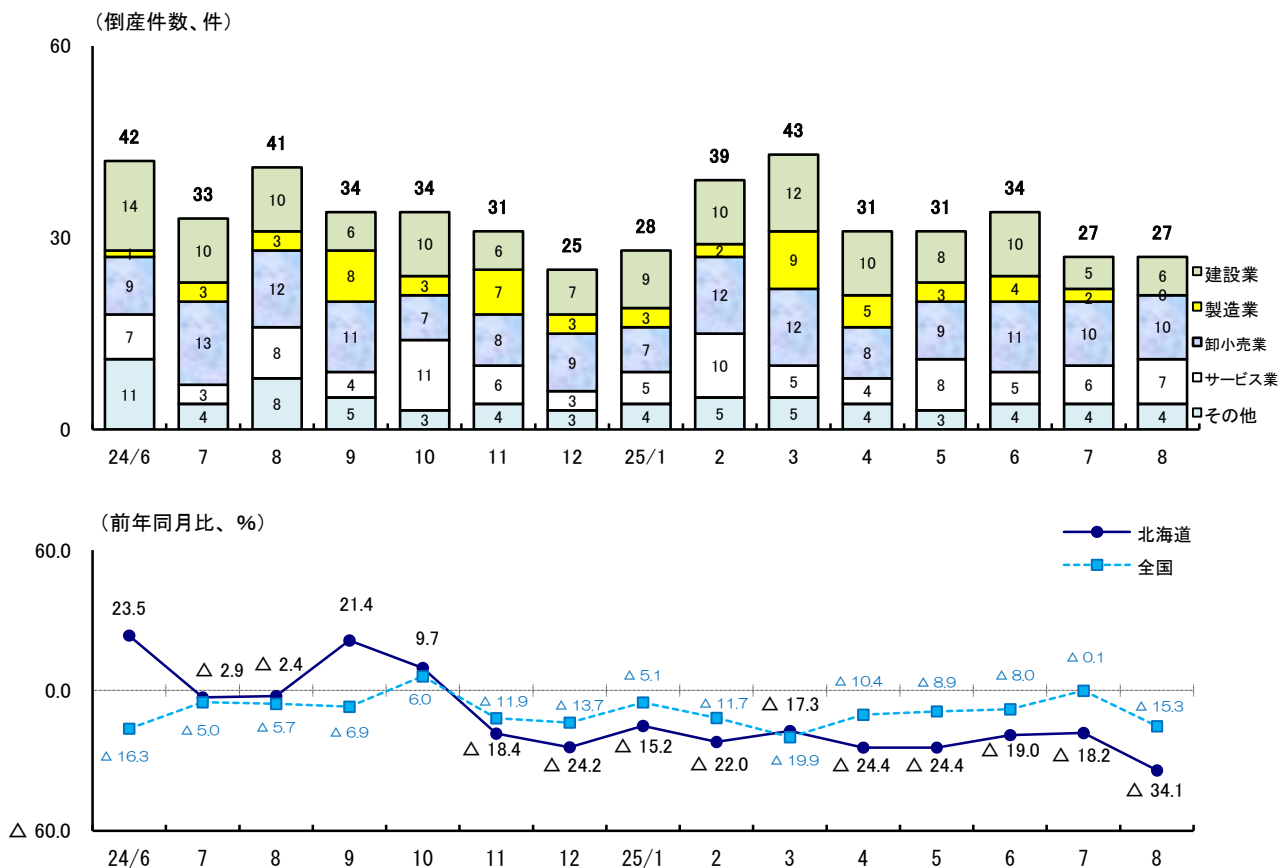


(財務省、函館税関調べ)

■企業倒産～ 件数、負債総額とも前年を下回った

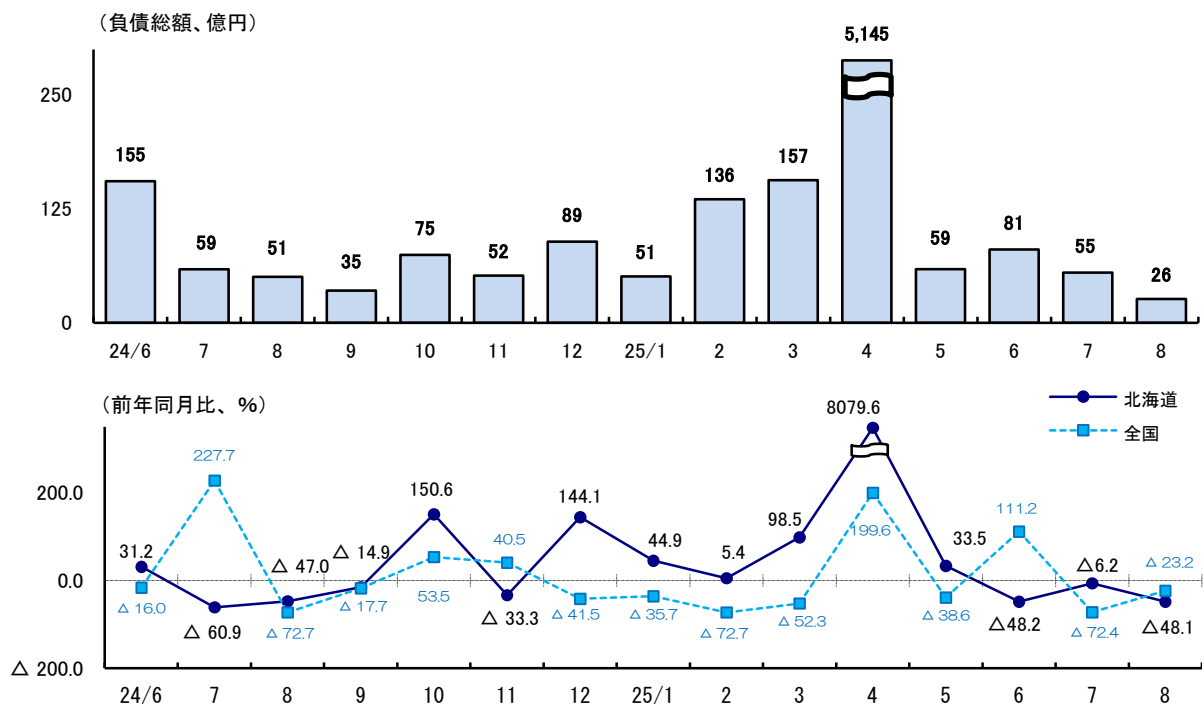
◆企業倒産件数（8月）◆

企業倒産件数は27件、前年同月比34.1%減と10か月連続で前年を下回った。



◆負債総額（8月）◆

負債総額は26億円、前年同月比48.1%減と3か月連続で前年を下回った。

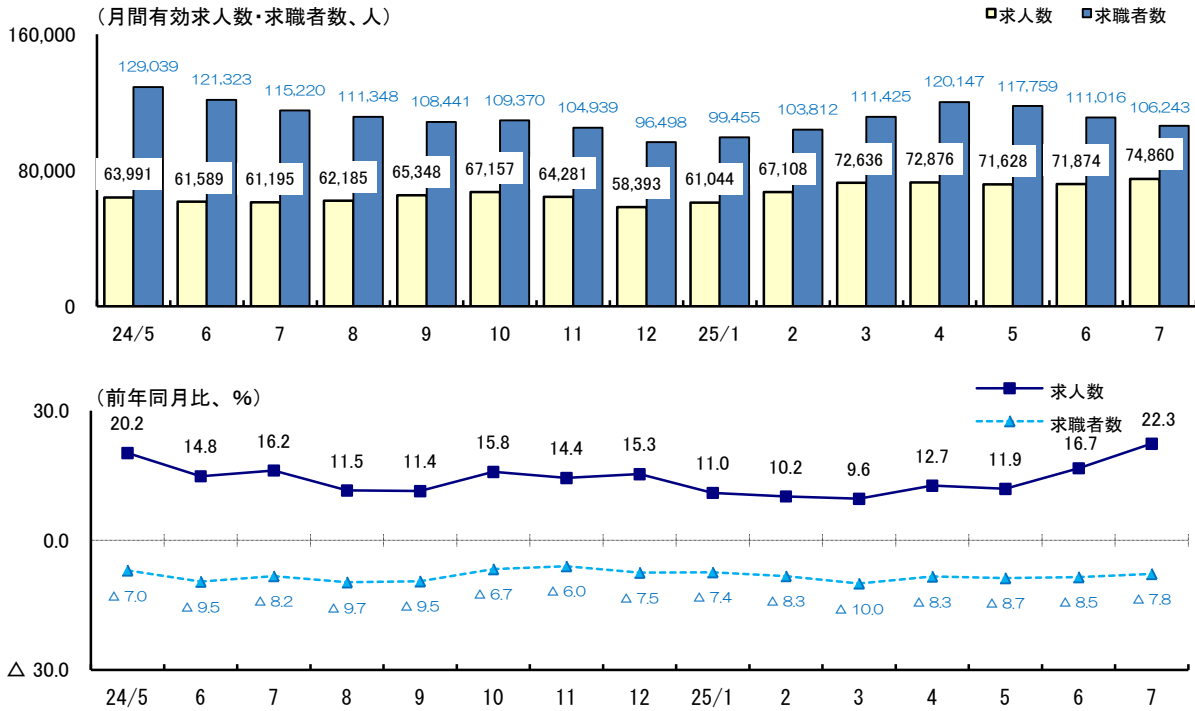


(東京商工リサーチ北海道支社調べ)

■雇 用 ～ 厳しい状況が続いているものの、緩やかに持ち直してきている

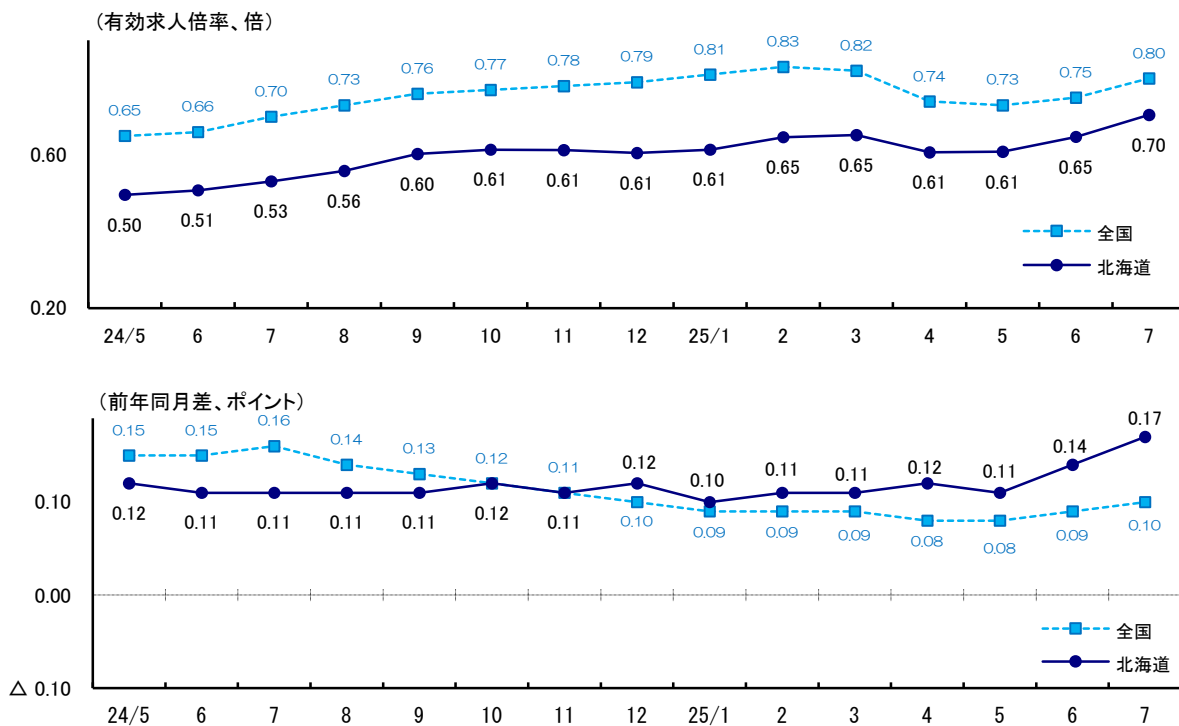
◆月間有効求人数・求職者数（7月）◆

月間有効求人数は7万4,860人、前年同月比22.3%増と42か月連続で前年を上回り、月間有効求職者数は10万6,243人、前年同月比7.8%減と21か月連続で前年を下回った。



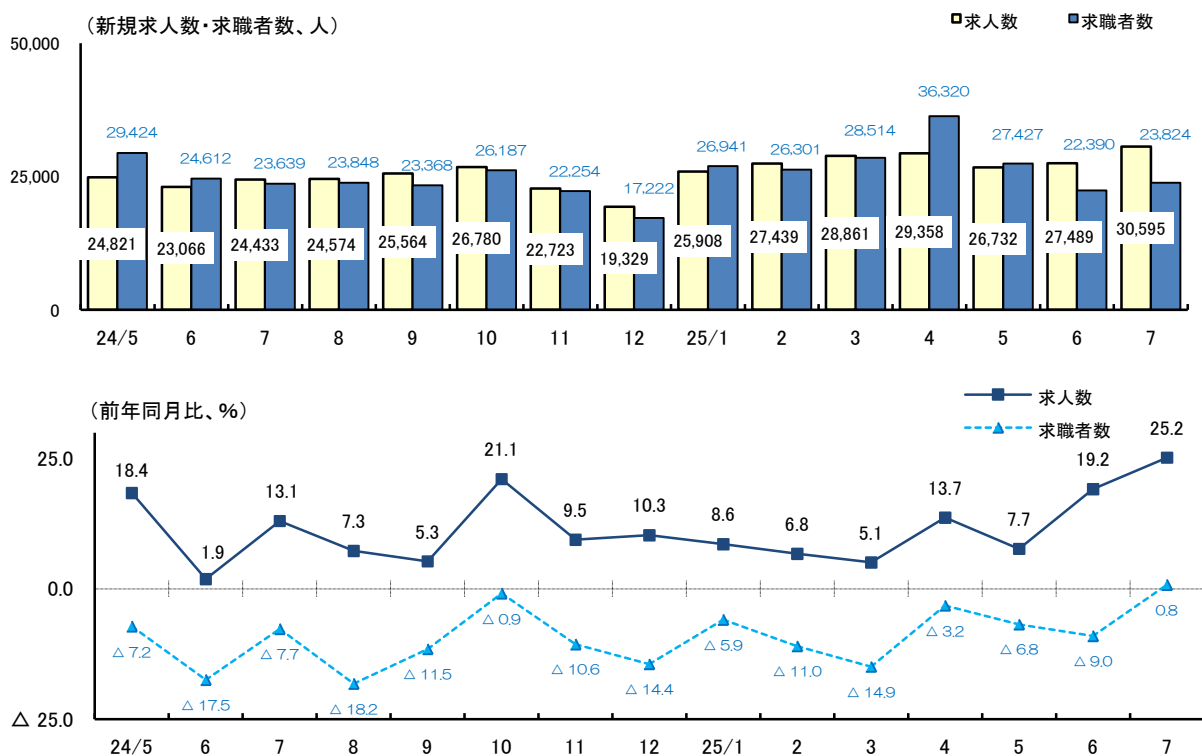
◆有効求人倍率（7月）◆

有効求人倍率は0.70倍、前年同月差では0.17ポイント増となり、42か月連続で前年を上回った。



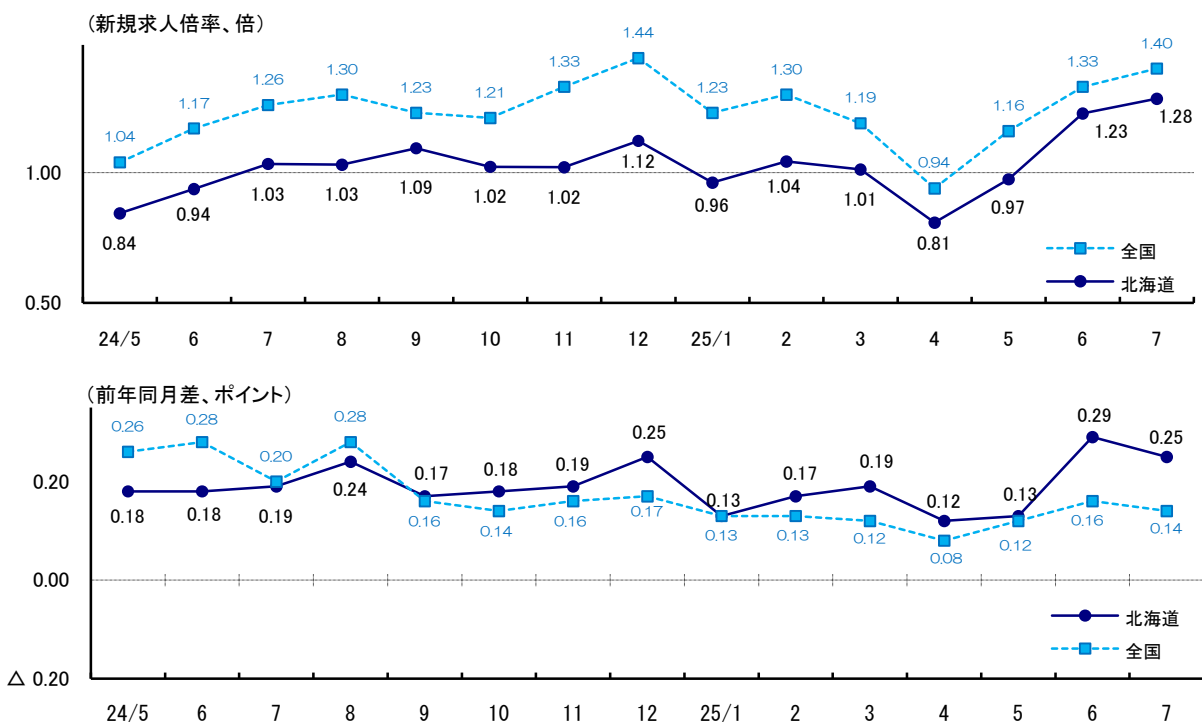
◆新規求人数・求職者数（7月）◆

新規求人数は3万595人、前年同月比25.2%増と42か月連続で前年を上回り、新規求職者数は2万3,824人、前年同月比0.8%増と21か月ぶりに前年を上回った。



◆新規求人倍率（7月）◆

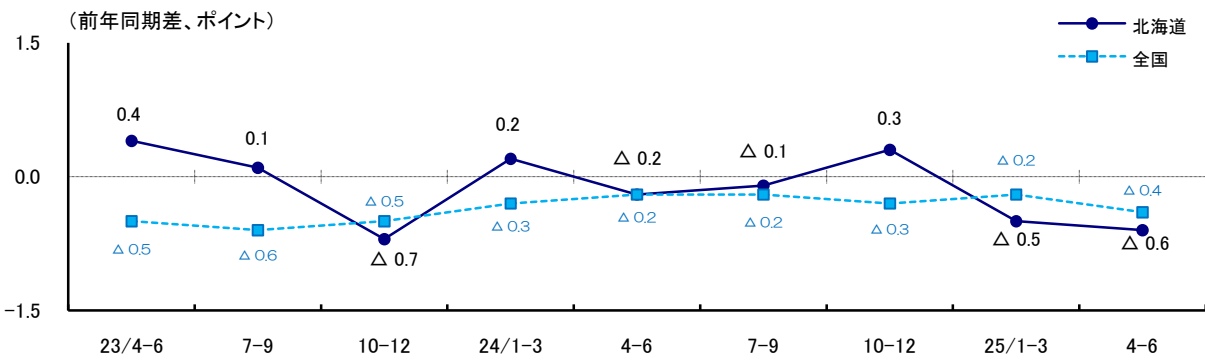
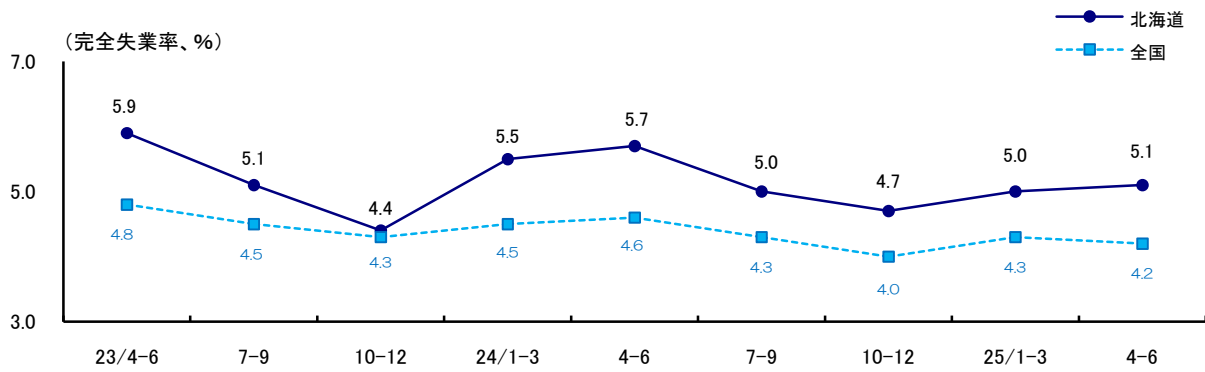
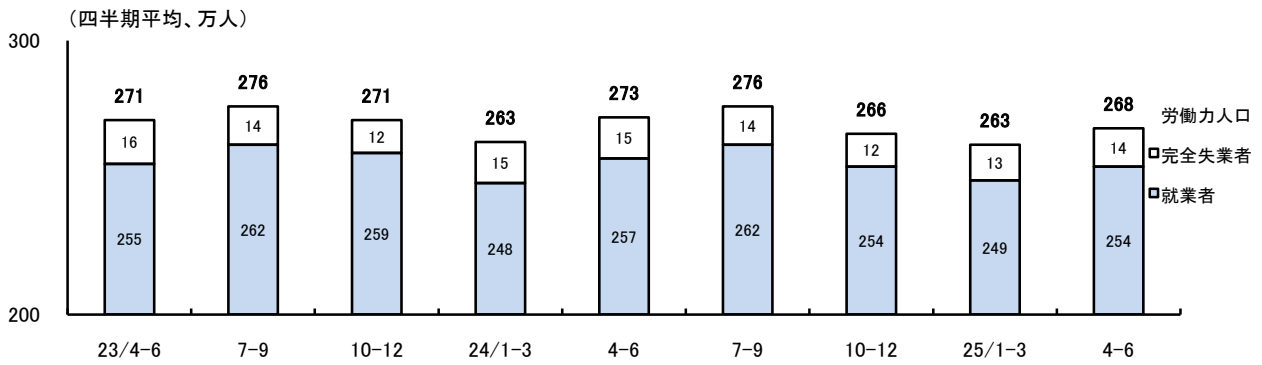
新規求人倍率は1.28倍、前年同月差では0.25ポイント増となり、26か月連続で前年を上回った。



(北海道労働局、厚生労働省調べ)

◆完全失業者数、完全失業率（25年4-6月期）◆

完全失業者数は14万人と前年同期に比べて1万人減少し、完全失業率は5.1%、前年同期から0.6ポイント低下した。



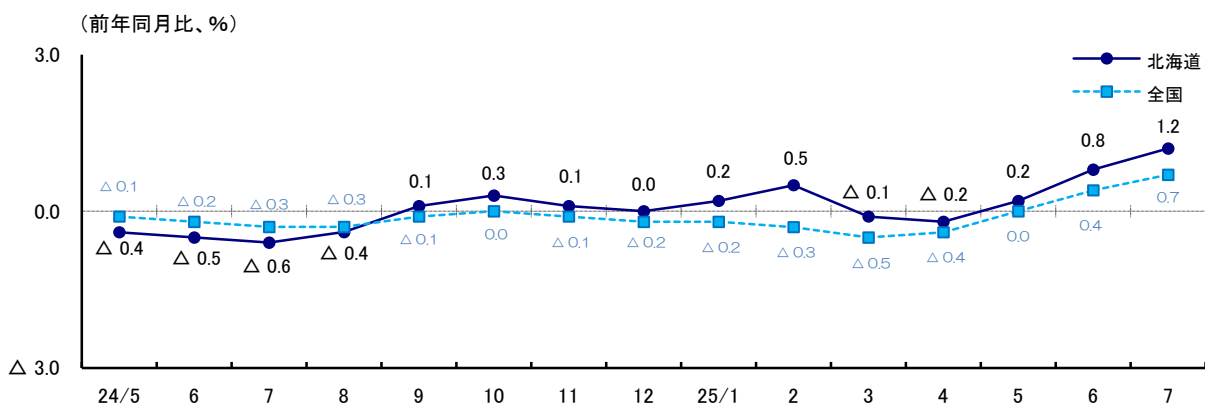
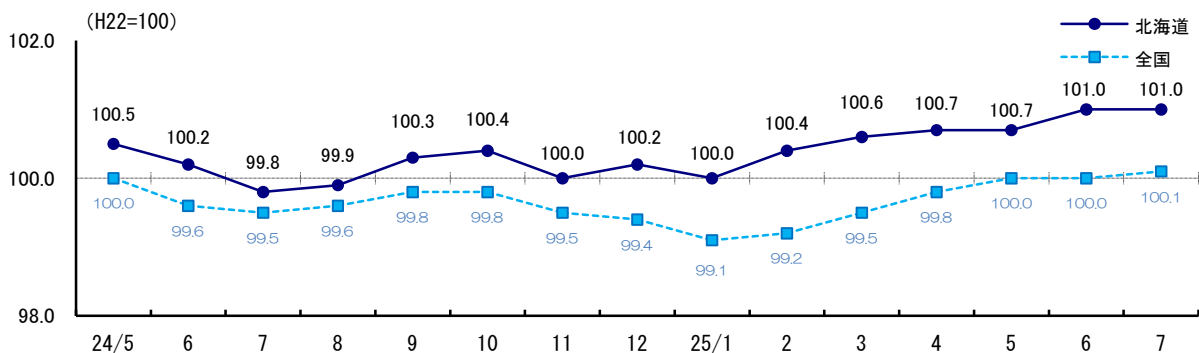
(総務省調べ)

※ 平成23年1-3月から7-9月までの全国値は、補完的な推計を行って算出した参考値

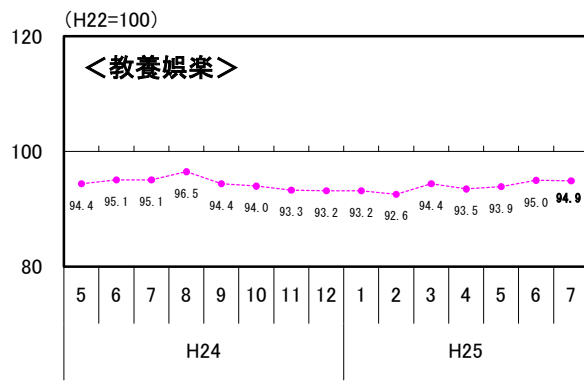
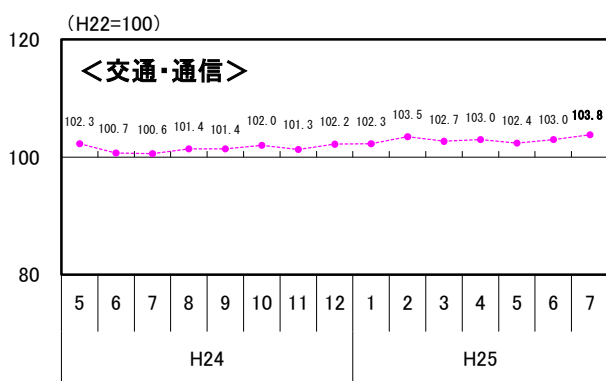
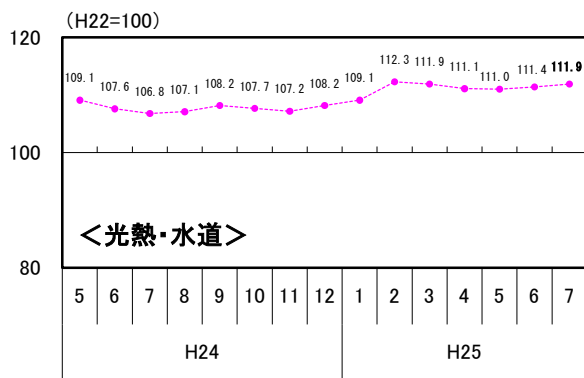
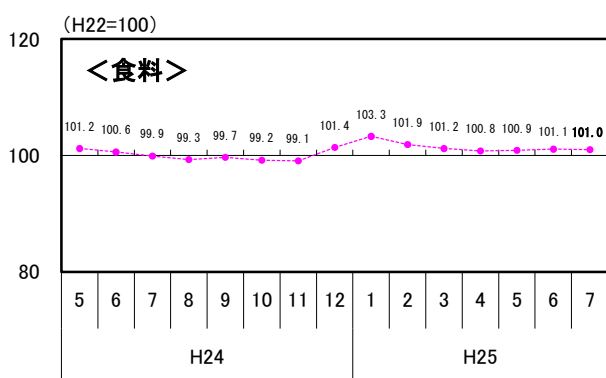
■物 価 ～ 消費者物価指数は前年を上回った

◆消費者物価指数（7月）◆

生鮮食品を除く総合で101.0と、前年同月比1.2%増と3か月連続で前年を上回った。



前月からの動きを費目別で見ると、光熱・水道、交通・通信が上昇し、食料、教養娯楽は低下した。

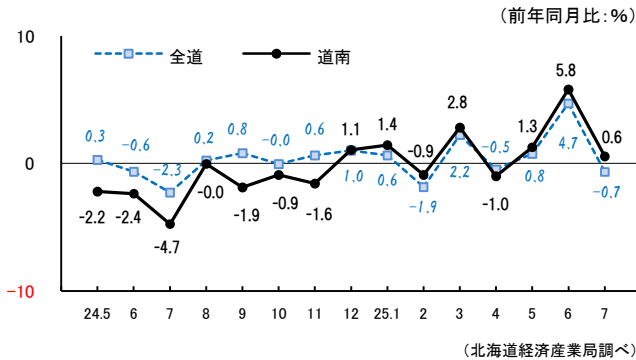


（総務省統計局調べ）

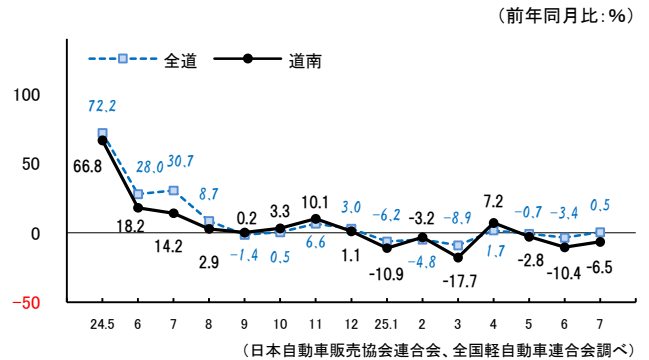
■ 地域の経済動向

道南圏

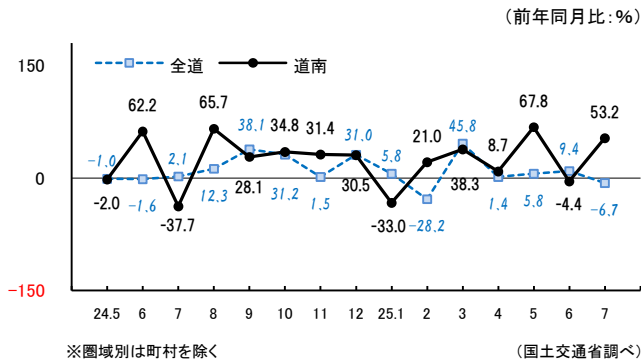
◆大型小売店販売額(全店、函館市) (7月)◆ 3か月連続で前年を上回った



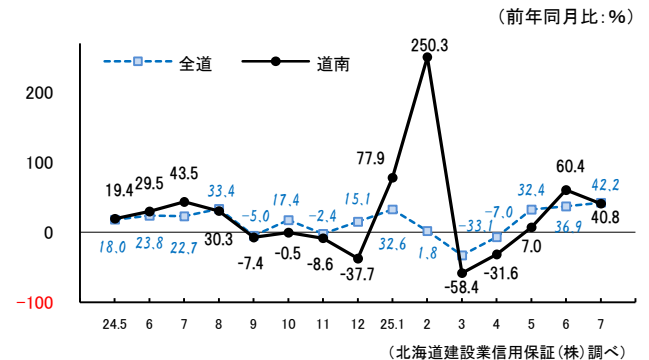
◆新車登録台数(乗用車) (7月)◆ 3か月連続で前年を下回った



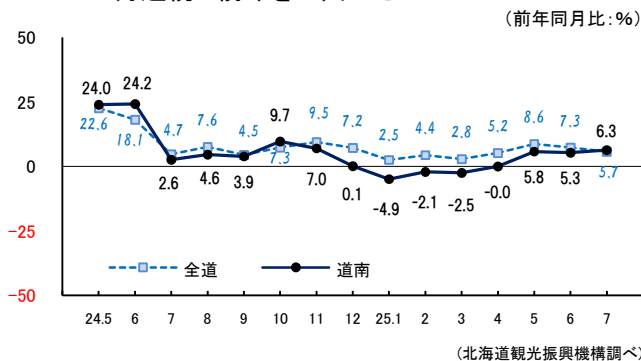
◆新設住宅着工戸数 (7月)◆ 2か月ぶりに前年を上回った



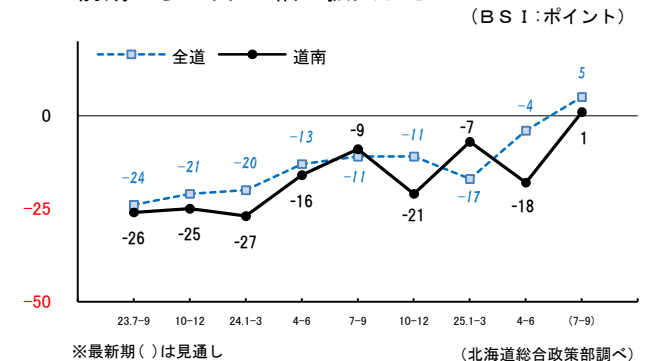
◆公共工事請負金額 (7月)◆ 3か月連続で前年を上回った



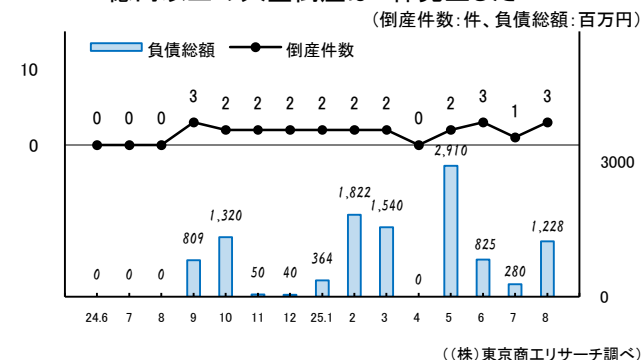
◆航空機利用による来道者数(着地別) (7月)◆ 3か月連続で前年を上回った



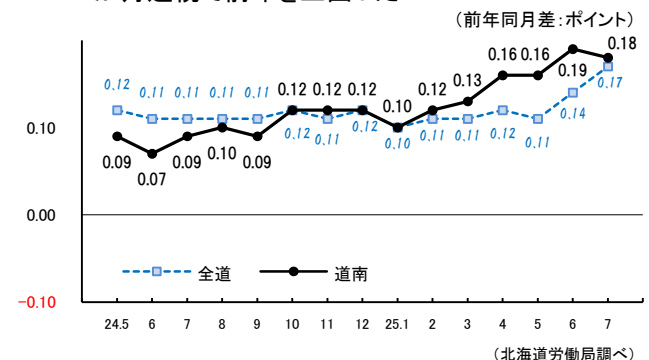
◆企業の業況感 (4-6月期)◆ 前期からマイナス幅が拡大した



◆企業倒産 (8月)◆ 10億円以上の大型倒産は1件発生した



◆有効求人倍率 (7月)◆ 38か月連続で前年を上回った

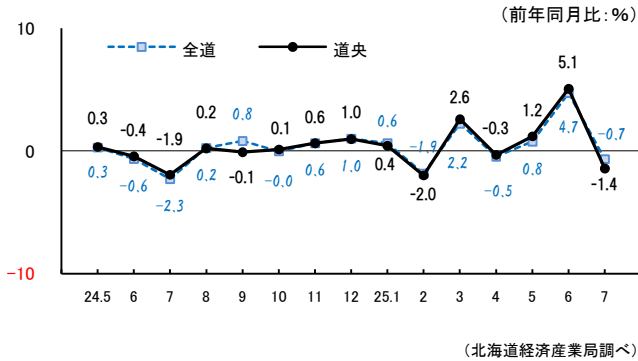


■ 地域の経済動向

道央圏

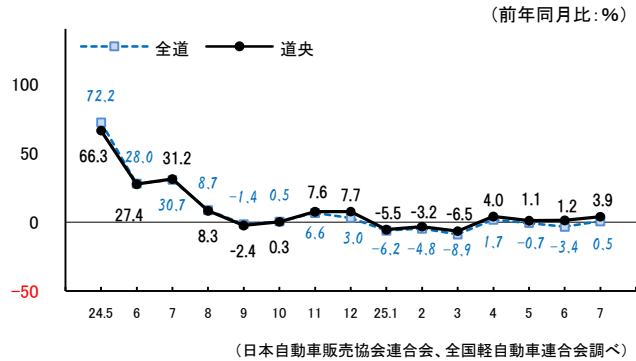
◆大型小売店販売額（7月）◆

（全店、札幌市・小樽市・苫小牧市・室蘭市）
3か月ぶりに前年を下回った



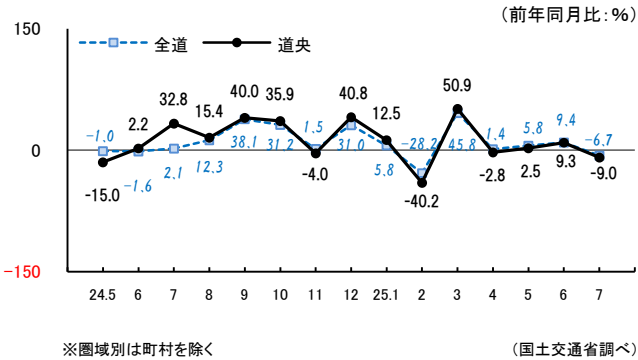
◆新車登録台数(乗用車)（7月）◆

4か月連続で前年を上回った



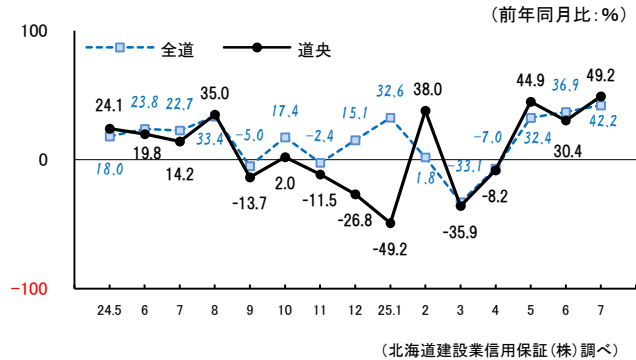
◆新設住宅着工戸数（7月）◆

3か月ぶりに前年を下回った



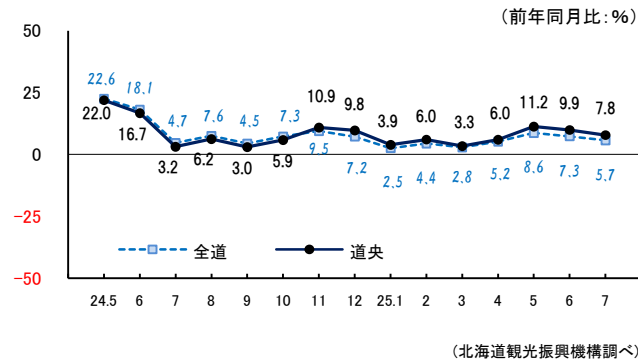
◆公共工事請負金額（7月）◆

3か月連続で前年を上回った



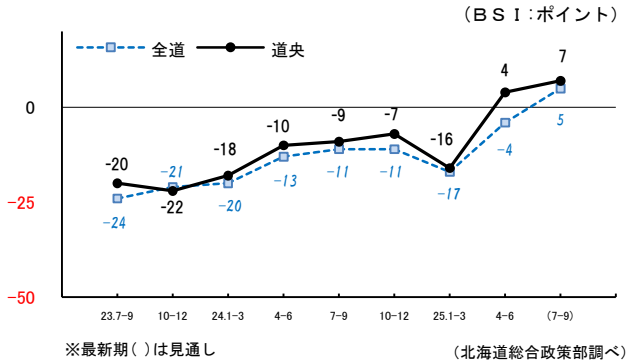
◆航空機利用による来道者数(着地別)（7月）◆

17か月連続で前年を上回った



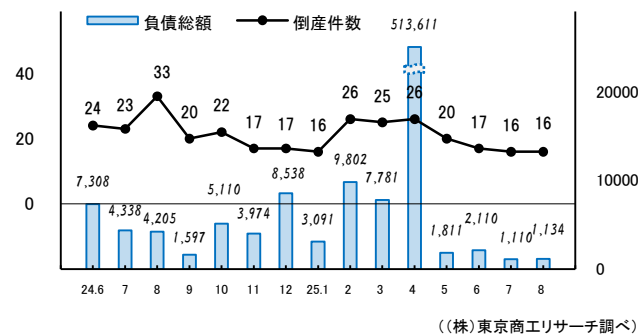
◆企業の業況感（4-6月期）◆

前期マイナスからプラスに転換した



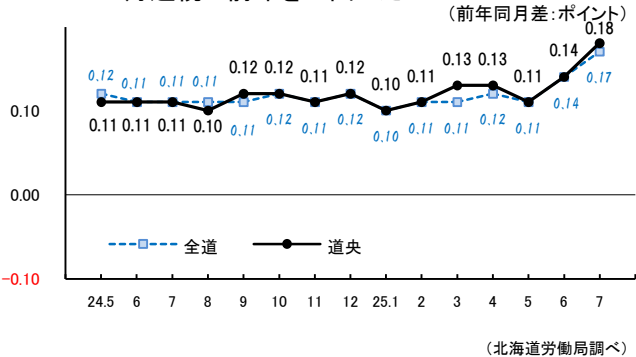
◆企業倒産（8月）◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



◆有効求人倍率（7月）◆

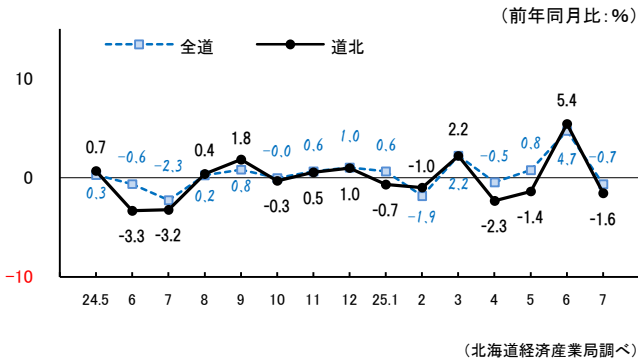
41か月連続で前年を上回った



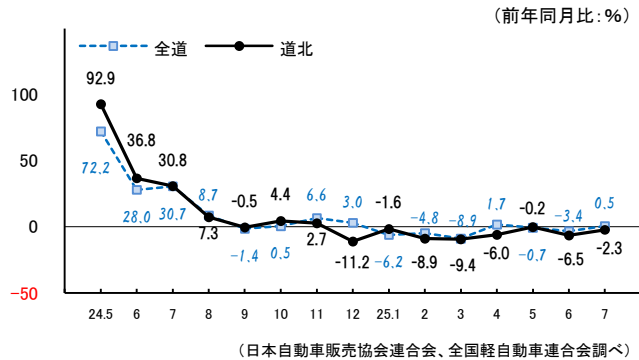
■ 地域の経済動向

道北圏

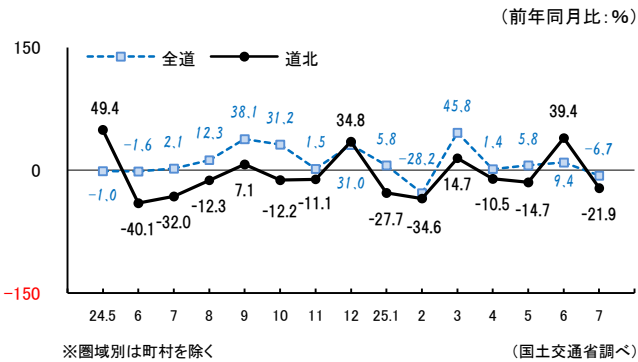
◆大型小売店販売額(全店、旭川市) (7月)◆
2か月ぶりに前年を下回った



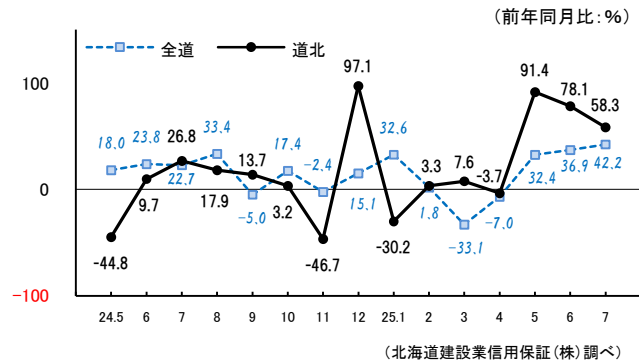
◆新車登録台数(乗用車) (7月)◆
8か月連続で前年を下回った



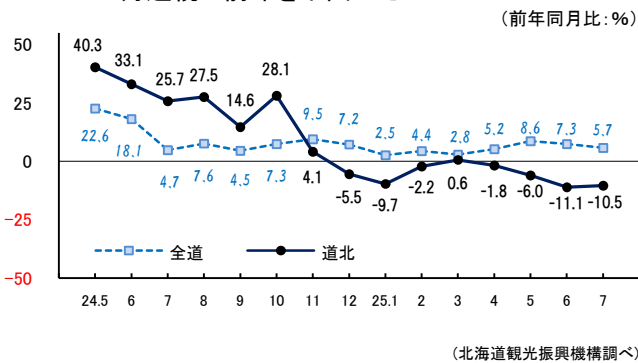
◆新設住宅着工戸数 (7月)◆
2か月ぶりに前年を下回った



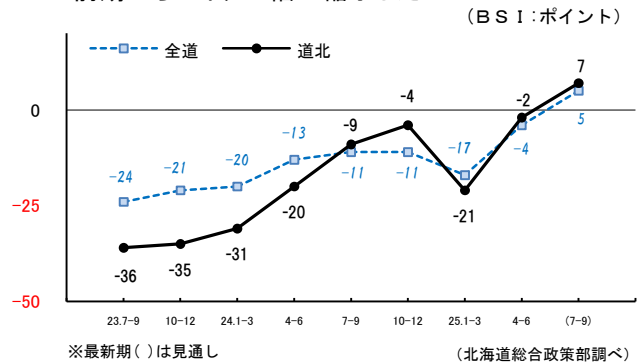
◆公共工事請負金額 (7月)◆
3か月連続で前年を上回った



◆航空機利用による来道者数(着地別) (7月)◆
4か月連続で前年を下回った

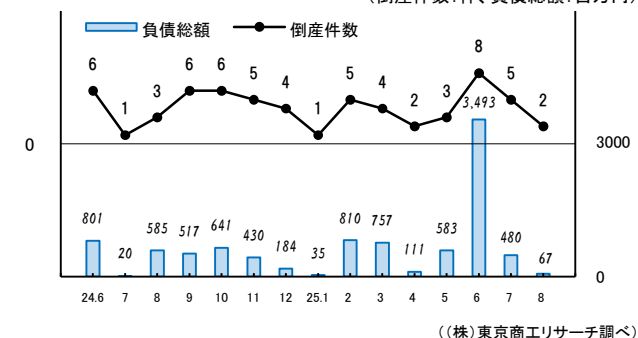


◆企業の業況感 (4-6月期)◆
前期からマイナス幅が縮小した



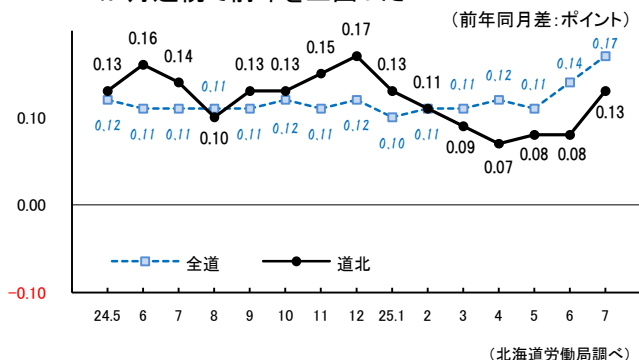
◆企業倒産 (8月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



◆有効求人倍率 (7月)◆

43か月連続で前年を上回った

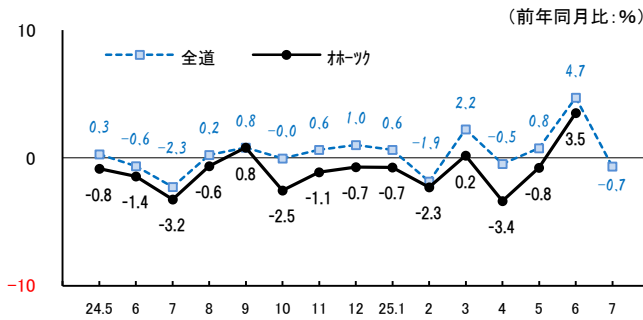


■ 地域の経済動向

オホーツク圏

◆ 主要小売店売上高(全店) (6月) ◆

3か月ぶりに前年を上回った

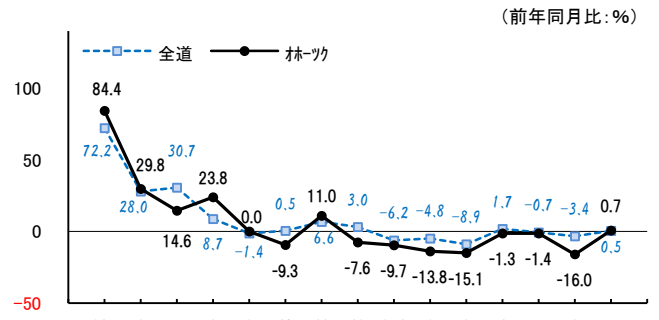


※全道は大型小売店販売額

(財務局北見出張所、北海道経済産業局調べ)

◆ 新車登録台数(乗用車) (7月) ◆

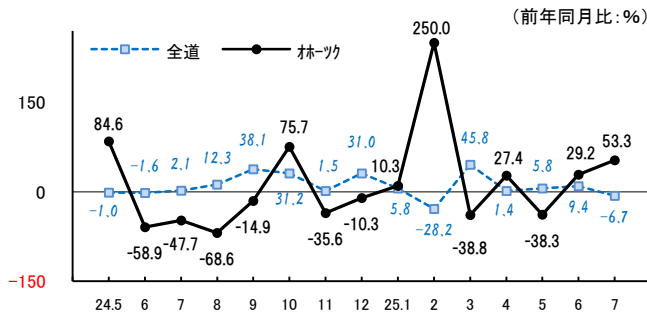
8か月ぶりに前年を上回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会調べ)

◆ 新設住宅着工戸数 (7月) ◆

2か月連続で前年を上回った

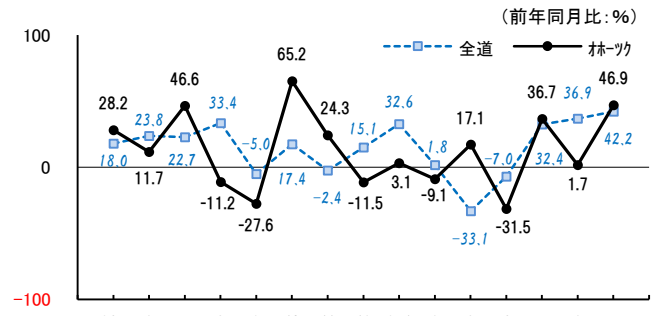


※圏域別は町村を除く

(国土交通省調べ)

◆ 公共工事請負金額 (7月) ◆

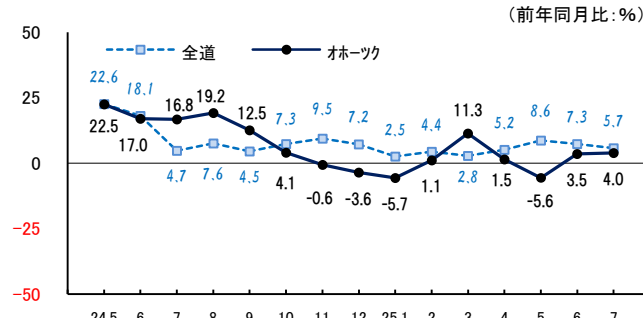
3か月連続で前年を上回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆ 航空機利用による来道者数(着地別) (7月) ◆

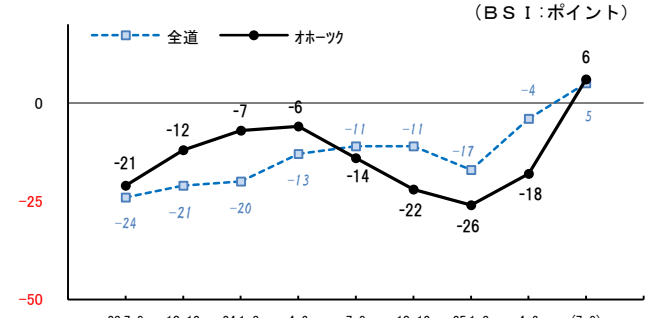
2か月連続で前年を上回った



(北海道観光振興機構調べ)

◆ 企業の業況感 (4-6月期) ◆

前期からマイナス幅が縮小した

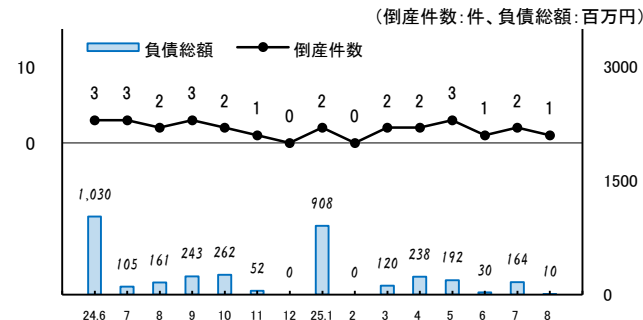


※最新期()は見通し

(北海道総合政策部調べ)

◆ 企業倒産 (8月) ◆

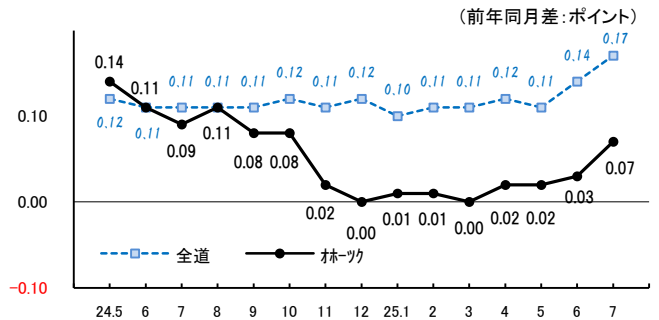
10億円以上の大型倒産は発生しなかった



(株)東京商工リサーチ調べ)

◆ 有効求人倍率 (7月) ◆

4か月連続で前年を上回った

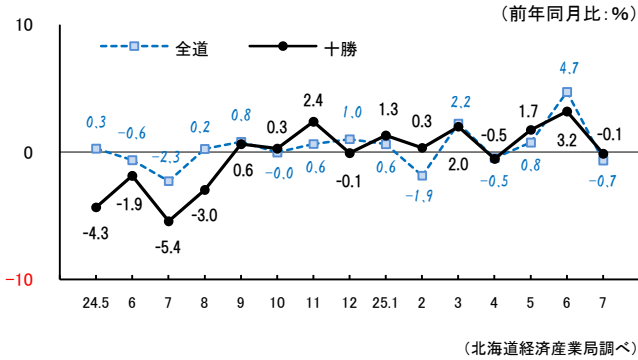


(北海道労働局調べ)

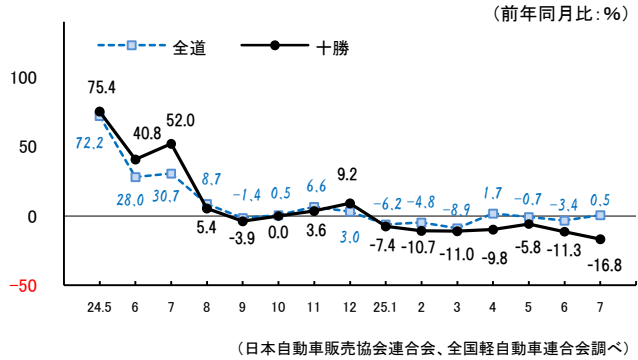
■ 地域の経済動向

十勝圏

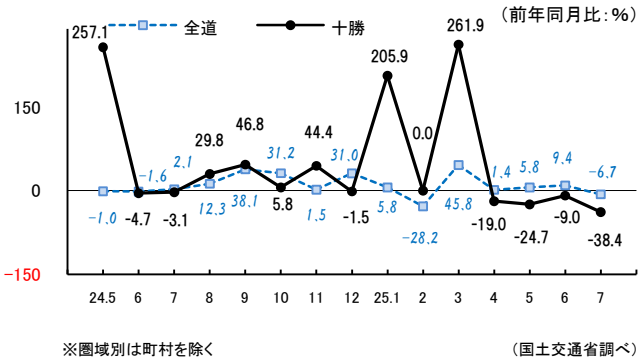
◆大型小売店販売額(全店、帯広市) (7月)◆
3か月ぶりに前年を下回った



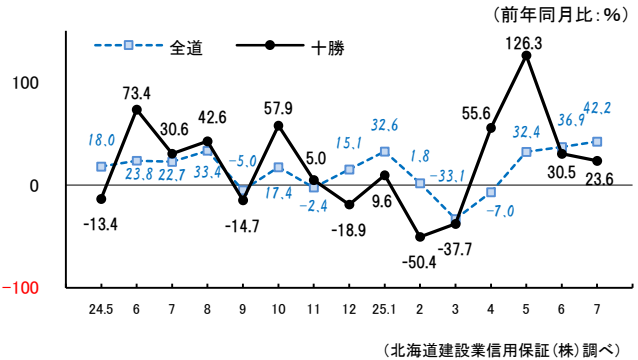
◆新車登録台数(乗用車) (7月)◆
7か月連続で前年を下回った



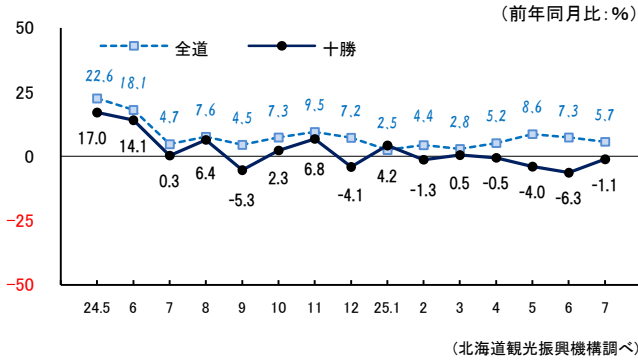
◆新設住宅着工戸数 (7月)◆
4か月連続で前年を下回った



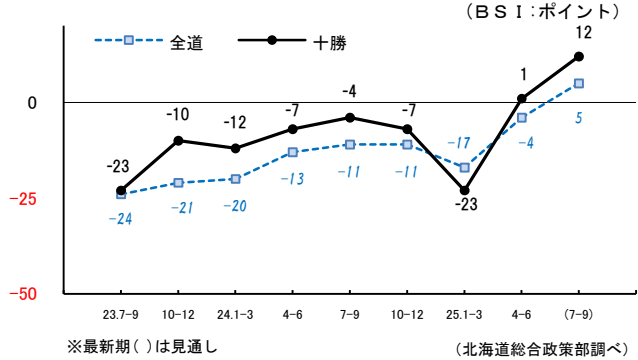
◆公共工事請負金額 (7月)◆
4か月連続で前年を上回った



◆航空機利用による来道者数(着地別) (7月)◆
4か月連続で前年を下回った

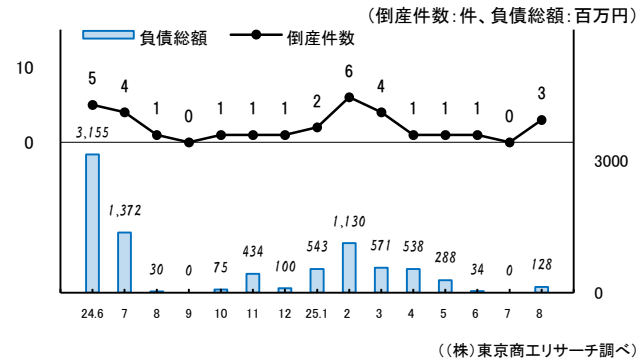


◆企業の業況感 (4-6月期)◆
前期マイナスからプラスに転換した



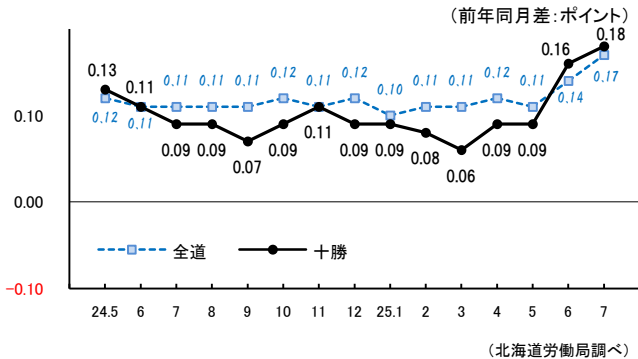
◆企業倒産 (8月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率 (7月)◆

21か月連続で前年を上回った

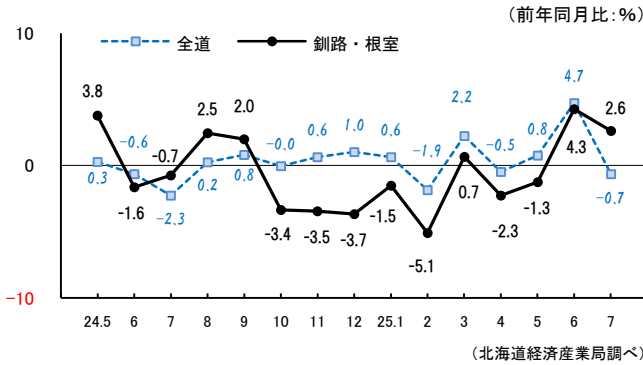


■ 地域の経済動向

釧路・根室圏

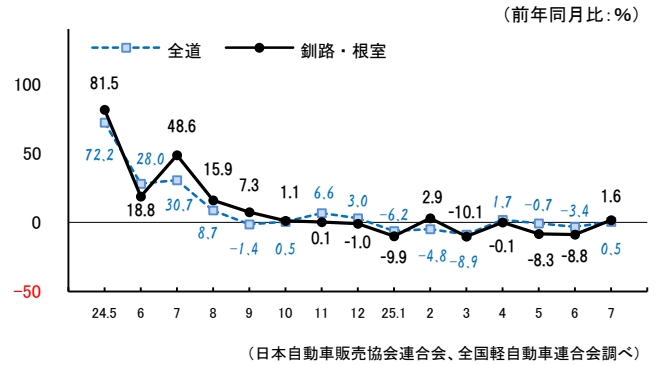
◆大型小売店販売額(全店、釧路市) (7月)◆

2か月連続で前年を上回った



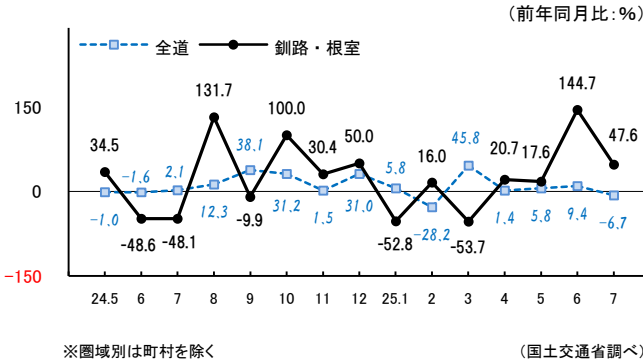
◆新車登録台数(乗用車) (7月)◆

5か月ぶりに前年を上回った



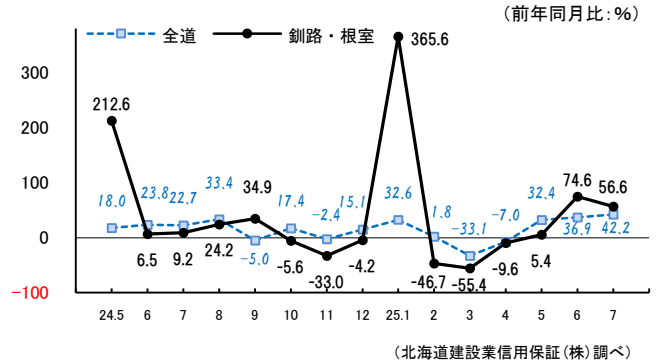
◆新設住宅着工戸数 (7月)◆

4か月連続で前年を上回った



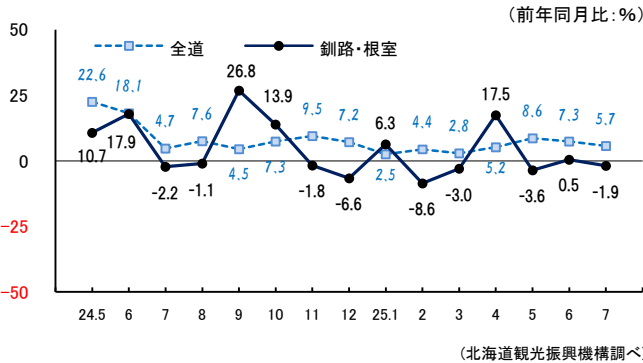
◆公共工事請負金額 (7月)◆

3か月連続で前年を上回った



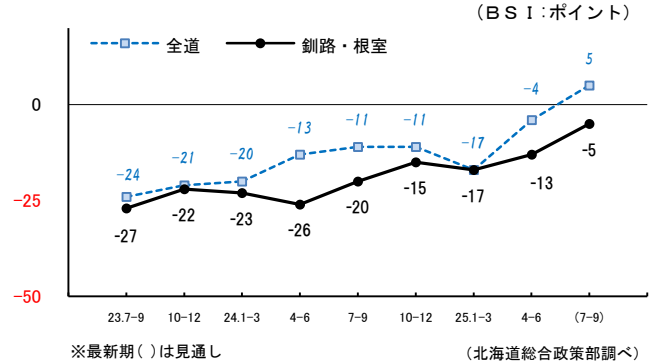
◆航空機利用による来道者数(着地別) (7月)◆

2か月ぶりに前年を下回った



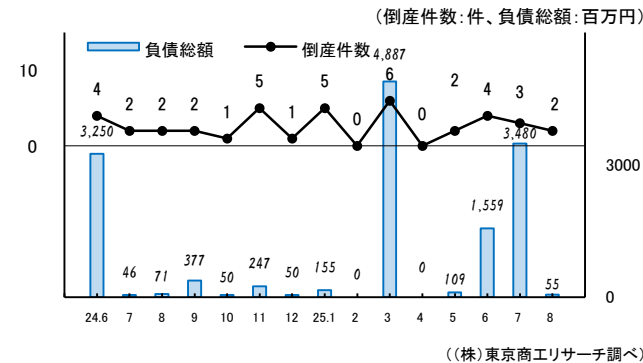
◆企業の業況感 (4-6月期)◆

前期からマイナス幅が縮小した



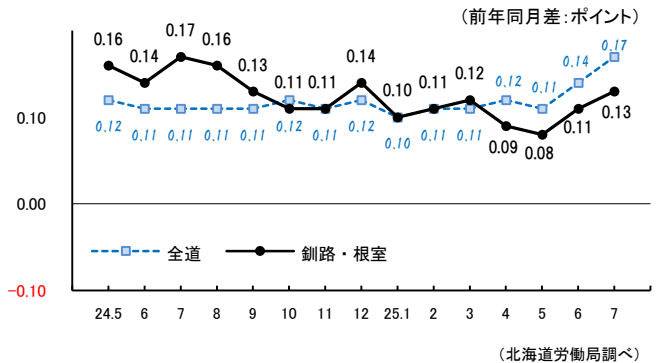
◆企業倒産 (8月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率 (7月)◆

44か月連続で前年を上回った



■全国の景気

～景気は、緩やかに回復しつつある。～

<内閣府月例経済報告(平成25.9.13)から>

我が国経済の基調判断

- ・輸出は、このところ持ち直しの動きが緩やかになっている。生産は、緩やかに増加している。
- ・企業収益は、大企業を中心に改善している。設備投資は、非製造業を中心に持ち直しの動きがみられる。
- ・企業の業況判断は、改善している。
- ・雇用情勢は、改善している。
- ・個人消費は、持ち直し傾向にある。
- ・物価の動向を総合してみると、デフレ状況ではなくなりつつある。

先行きについては、輸出が持ち直し、各種政策の効果が発現するなかで、家計所得や投資の増加傾向が続き、景気回復の動きが確かなものとなることが期待される。ただし、海外景気の下振れが、引き続き我が国の景気を下押しするリスクとなっている。

政策の基本的態度

政府は、大震災からの復興を加速させるとともに、デフレからの早期脱却と経済再生の実現に向けて全力で取り組む。このため、「経済財政運営と改革の基本方針」に基づき経済財政運営を進めるとともに、「日本再興戦略」の実行を加速化し、強化する。

日本銀行には、2%の物価安定目標をできるだけ早期に実現することを期待する。

各 論

- ・個人消費は、持ち直し傾向にある。
- ・設備投資は、非製造業を中心に持ち直しの動きがみられる。
- ・住宅建設は、増加している。
- ・公共投資は、堅調に推移している。
- ・輸出は、このところ持ち直しの動きが緩やかになっている。輸入は、横ばいとなっている。貿易・サービス収支の赤字は、おおむね横ばいとなっている。
- ・生産は、緩やかに増加している。
- ・企業収益は、大企業を中心に改善している。企業の業況判断は、改善している。倒産件数は、おおむね横ばいとなっている。
- ・雇用情勢は、改善している。
- ・国内企業物価は、緩やかに上昇している。消費者物価は、エネルギーを中心に上昇しており、それを除いた基調としても底堅さがみられる。
- ・株価(日経平均株価)は、13,700円台から13,300円台まで下落した後、14,400円台まで上昇した。対米ドル円レートは、97円台から100円台まで円安方向へ推移した。

最近の経済動向
平成25年9月号

編集・発行 北海道総合政策部政策局経済調査課

TEL 011-204-5139

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/skc/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>